# 京城日報

八日夕刊

本紙定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金六拾五錢（前金）三ヶ月金壹圓九拾錢　六ヶ月金三圓七拾錢　▲郵税代用二割増

廣告料　▲五號活字一行金七拾錢（特別）▲二號活字一行金拾錢　▲一號活字一行金貳拾錢増▲三號活字は五號活字の三行に同じ▲六號活字の

發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
電話番號


## ◎濟南邦人迫害さる

### 支那巡警の暴狀

五日午後十時半爆彈投擲並に放火各所に起り日本人所有の倉庫も燒打せられ損害夥し商埠地にて支那巡警の故意に日本人に向ひ射撃せるも負傷せず在留民の生命財產危險に瀕し取引杜絶し避難民相繼ぎ混雜名狀すべからず（濟南特電）

## ◎四川無宣言の獨立

重慶發電に曰く信據すべき報道に依れば成都は公式に宣言をなさずして獨立せり陳將軍は五個師團の兵を有し重慶の曹錕も亦た三箇師團の兵を有せり海澄及び廈門に於ける風雲は五日迄には豫想し難かりしと（上海特電）

## ◎四川獨立通告

四川省は獨立宣布と同時に此旨を北京政府及び南方各省に向つて通告せりと（東京電報）

## ◎四川軍と威嚇

北京來電に據れば陳宦將軍の統率する四川省軍は袁總統にして退職せずんば七日を以て獨立を宣言す可しと威嚇せりと（東京電報）

## ◎山東革命如何

山東省に蜂起せる暴徒は南北支那中斷を策し濟南府に迫りつゝあるも此方面に於ける革命黨の成功は猶疑問なり（東京電報）

## ◎黃興橫濱著

米國より渡來の途に在る黃興一行は九日橫濱著上陸の筈なり（東京電報）

## ◎米獨關係と羅馬法皇

羅馬法皇の使節は大統領ウキルソン氏に謁し法皇の私翰を呈し若し出來得べくんば米獨國交の破裂を避けん事を勸告せり（紐育電報）

## ◎獨逸の回答に滿足す

米國大統領は潛航艇戰に關する獨逸の回答に滿足し獨逸への通牒は今回を以て打切らんとする模樣にて單に國務卿より意見を發表するに止むべしと（桑港電報）

## ◎宮相山公訪問

波多野宮相は七日山縣元帥を小田原古稀庵に訪問し何事か長時間に亘り會談歸京せるが時節柄大に注目を惹きたり（東京電報）

## ◎五節會御陪食

聖上陛下には八日正午より伏見久邇兩宮殿下を午餐に召させられ五節會御祝言の爲め麝香間に伺候せる各員に御陪食仰せ付けらる（東京電報）

## ◎青島戰記念館

宮城二重橋正門內に青島戰記念館を造營す可しと（東京電報）

## ◎露藏券と手形割引

日本銀行にては露國大藏證券を擔保として手形の割引をなす事となるべしと（東京電報）

## ◎工場法細則發表

工場法施行細則八日發表せられたり（東京電報）

## ◎四五年度酒税大減收

大正四、五年度酒税收入大に減少せりと（東京電報）

## ◎志村勸銀總裁

志村勸銀總裁は七日午後三時鎭南浦より來壤道廳高等官銀行團の出迎盛なり（平壤特電）

## ◎琿春凶作と鮮人

琿春地方は一昨年來の凶作にて細民饑餓に瀕せるが從來なれば支那官憲は鮮人を救濟するも新協約實施以來日本臣民たる鮮人を救恤する義務なしとて取合はざるより北條琿春副領事は本秋迄の施米費として八千圓の支出方を總領事を經て其筋に申請せり（淸津特電）

## ◎軍旗と立花將軍

立花第十九師團長は七日午後三時著撰文武高等官民間有志の出迎へ盛んなり步兵第七十七聯隊は驛前に堵列軍旗を迎へて步武整々兵營に入れり（平壤特電）

## ◎國分白水兩氏

國分司法部長官及び白水軍參謀長は櫻丸にて八日朝釜山著十時三十分發の列車にて北行せり（釜山特電）

## ◎淸津商議と府民

淸津商業會議所設立不認可となりしに付府民は近く商業者集會を開き總督府に陳情の爲め委員を擧ぐ可しと（淸津特電）

## ◎滿洲東邊の情勢

▲官革兩軍交戰　東邊革軍の首領元桓仁縣知事王濟輝は嚮に寬甸縣下なる小蒲石河を襲擊したる後既報の通り對岸朝鮮側に渡航し本月三日更に引返して長甸河口を距る四十支里の王八龜頸子附近に於て官兵と衝突交戰數刻の後之を擊破して巡防兵六名を生擒し五日更に同地附近に於て交戰せるが其際官軍は二十餘名の負傷者を出せり

▲革軍密偵就縛　王濟輝の放てる密偵長李安仁は五日小蒲石河水警察署長揭志の爲に逮捕せられ六日午前安東縣へ護送されたるが目下馬鎭守使自ら之が取調を爲しつゝあり

▲討伐隊の出動　官兵敗戰の報に接したる東邊鎭守使は鳳凰城駐屯步隊二百餘名砲隊及び馬隊百餘名を五日急遽寬甸縣へ出動せしめたり

▲安東警戒嚴重　形勢以上の如くにして加ふるに革軍南下の情報頻りに到るを以て安東の支那官憲に於ては昨今日夜嚴重なる警戒を爲し殊に安東鎭守使は鳳凰城隨營學堂生徒を應援の爲め招致する事となり同學堂生徒八十名は朱堂長引率の下に軍馬八頭及び機關銃一挺を携へて五日夜著安し目下警戒任務に服し居れり（安東電）

## ◎安東增兵電請

現在安東縣に駐屯せる巡防隊は僅に一營に過ぎず萬一事變に際しては到底治安を維持し難きのみならず昨今桓仁寬甸地方に蜂起して猖獗を極めつゝある討袁軍南下の報頻りに傳はるを以て東邊鎭守使馬中將は此際新に一營を增設するを喫緊の急務なりとし五日張奉天將軍に此旨電請したり（安東電）

## ◎鐵道會議

▲鐵道委員歸京　金剛山觀覽中なりし國際會議各國委員一同は第一日は滿足に萬物相の奇景を賞し第二日は雨大なりしも雨を衝いて玉流洞を見物し第三日朝長箭發の汽船二時間餘遲延せる爲め元山著及び元山發の臨時列車順延し元山發二時間十分にして八日午前零時四十分南大門驛著歸京したり

▲鐵道會議調印　國際連絡會議委員は九日午前十時より會場朝鮮ホテルに集合し議定書の調印を爲し記念撮影の後會を閉ぢ更に引續き東淸京奉連絡會議に定書の調印を爲し記念撮影の上閉會する豫定なり之にて京城に於ける國際鐵道連絡會議終了の筈なり

▲支那委員招待　國際鐵道連絡會議支那側委員は朝鮮鐵道側の委員と共に九日夜支那總領事寄士英氏招待の花月に於ける晚餐會に臨み十日午前九時十分南大門發奉天へ直行の豫定なり

▲委員は九日北行　京城に於ける國際連絡會議を終れる東淸鐵道、滿鐵、鐵道院委員一同は九日午後九時四十分發列車にて南大門を發し鐵道局よりも三本營業課長和田參事、竹內書記同行し安東縣に到り同地にて安東領事、安東稅關長と會合の上支那保稅輸送に關する協議（支那領土通過貨物に對する保稅方法設定の件）を爲す筈なり

▲議定事項實施　連絡運輸會議に於ける議定事項は九日調印せられ何れも來る八月一日より實施さる可しと

## ◎石原次官退京

離宮候補地下檢分の爲め過般來京城及び平壤地方を巡察したりし石原宮內次官一行は八日午前八時三十分南大門驛發汽車にて退京慶州に向へり同驛には宇佐美內務部長官、小宮李王職次官、兒玉總務局長、森海軍武官、野田東拓副總裁其他官民有志數十名の見送りあり一行は八日慶州に宿り九日石窟庵を視察、再び慶州に宿泊十日夜釜山發連絡船にて歸任の豫定なり

## ◎吉原東拓總裁

馬山に轉地療養中の吉原東拓總裁は容態一進一退の爲め滯在期豫定より延引せしが愈々十日頃歸京の旨同社に通知あり

## ◎松平子東上

湖南線方面の視察を終りし松平東拓監事は七日大邱出張所の事務を視察し同夜東上したりと

## ◎立花師團長發

立花第十九師團長は平壤步兵第七十七聯隊へ新軍旗授與の爲め山崎參謀竹內副官、大森副官、堀內主計、谷口軍醫を隨へ七日午後九時五十分龍山發平壤へ向へり軍旗授與を行ひたる後九日午後一時三十九分平壤發午後七時半歸著の豫定なり

## ◎白井第四十旅團長

第四十旅團長白井陸軍少將は六日大邱發龍山へ赴けり

## ◎白水軍參謀長

陸軍省に於て開催されたる陸軍參謀長會議に列席の爲め上京中なりし駐箚軍參謀長白水少將は九日午前八時四十分龍山著歸任すべしと

## ◎秋山博士歸期

久しく東上中なりし秋山參事官は九日午後九時南大門驛著汽車にて歸任の旨其筋に通報ありたり

## ◎松永長官視察

松永京畿道長官は八日午後二時より京城府の篤行者表彰式に臨み其より金谷府尹の案內にて京城府に至り府廳舍全部の視察をなし府尹以下事務官主任に對し訓示を爲し三時半退廳せり

## ◎吉田專務母堂逝去

朝鮮郵船會社專務吉田秀次郎氏の母堂は豫て病氣中の所七日朝熊本縣葦北郡佐敷町にて逝去せしに付吉田氏は同夜急遽歸鄕せり

## ◎臼井辯護士登錄

朝鮮總督府事務官を辭任したる福岡縣士族從六位臼井水城氏は本月三日附を以て京城地方法院檢事局に於て辯護士名簿の登錄を受けたり氏は開城に於て開業すべく目下準備中に在りと

## ◎暴風と各航路

### 海難は無し

七日曉來の暴風朝鮮海峽一帶を襲ひ同夜迄打續きし爲め沿海の波浪頗る高く朝郵社船は同日木浦出帆船三隻の引返せし外西北鮮並に南鮮各方面の航路は何れも數時間の運著を餘儀なくされ又同社船以外の各航路就航船も發著に狂ひを來せしも幸ひに何等の海難なかりしと

## ◎關稅價格改正

輸移出品中左記の諸品は十六日より關稅價格を左の如く改正實施の事となれり

▲大豆上一石六圓六十錢下五圓九十三錢▲小豆上一石八圓二十六錢下七圓三十錢▲小麥上一石七圓下六圓二十七錢▲眞荏百斤六圓三十錢▲牛皮在來大百斤四十三圓乾中皮中四十九圓小三十五圓改良大五十圓乾皮中四十三圓

## ◎社船運賃引上

日本郵船及び大阪商船は協商の上元山より下の關阪神方面へ出荷する石黑鉛礦類の運賃を五月一日より約三割方引上げ近く又鐵礦石以外の雜貨に對し同樣引上げをなすべく調査中の由なるが內地に移出せらるゝ干鰯は多少の影響を受くべしと

## ◎商議豫算認可

京城商業會議所より其筋へ認可指令を申請中なりし大正五年度歲入出豫算總額一萬五千七百五十三圓九十七錢は八日付を以て總督府より認可の指令に接したり會議所にては豫算の示す所に從ひ直ちに其實行に著手すべしと

## ◎商議役員會

京城商業會議所にては既報の如く八日午後二時より役員會を開會し西村副會頭其他各特別評議員役員等出席し前年度歲入出決算、課金滯納處分等の件を議する所あり倘ほ本年度豫算は八日其筋の認可を得たるを以て今後に於ける各種施設の方法に就て打合する所ありて三時半散會したり

## ◎高知視察團入京期

高知縣教育會は約五十名の滿鮮學事視察團を組織し十八日神戶發大連へ、旅順、奉天、安東を經て入鮮六月一日平壤に著し夫れより京城、仁川、大邱、釜山等を視察する由

## ◎山口高商生入京期

山口高等商業學校生徒四十八名は二名の教授引率の下に關東州及び滿洲へ修學旅行の歸途、二十四日入京の筈也

## ◎普通學校長視察

鮮內普通學校長講習會員六十四名は七日午前八時三十分南大門驛發汽車にて水原に赴き勸業模範場、農林學校並に小學普通各校の視察を爲せり

## ◎京城浦鹽線故障

日露直通電信たる京城浦鹽線は烈風の爲め七日午後二時四十五分混線を來し城津淸津間に於て不通となりしより其後內地及び朝鮮內受附露國行き電報は全部商率の電報料を徵し長崎浦鹽間の大北電信會社海底線を通過せしめ居れり尙ほ元山郵便局工務係にて極力其の復舊に努め居れるに付遠からず全通すべしと

## ◎京城淸津線故障

京城淸津間電信線七日午前暴風の爲め一時不通となりしも今日直ちに復舊せりと

◎訂正　五月六日夕刊平壤聯隊到著記事中六十九百七十七名とあるは六十九、七十七兩聯隊の各兵士の電報誤譯に付訂正す

## 仁川

▲仁川商議豫算　六日認可を經たる仁川商業會議所の大正五年度歲入歲出經費豫算は左の如し

▲歲入之部

| | 圓 |
|---|---|
| 賦課金 | 六、八八四、七九〇 |
| 月報廣告料 | 一二〇、〇〇〇 |
| 雜收入 | 二〇、〇〇〇 |
| 計 | 七、〇二四、七九〇 |

▲歲出之部

| | 圓 |
|---|---|
| 給與費 | 二、六〇五、〇〇〇 |
| 所費 | 九九六、〇〇〇 |
| 調査費 | 三〇〇、〇〇〇 |
| 會議費 | 一四〇、〇〇〇 |
| 交際費 | 三四〇、〇〇〇 |
| 修繕費 | 二二〇、〇〇〇 |
| 創立費 | 一、八五二、〇〇〇 |
| 豫備費 | 六七一、七九〇 |
| 計 | 七、〇二四、七九〇 |

## 淸津

▲近海漁況　本春淸津近海の鱈漁業は空前の活況を呈し目下盛漁期に入りて漁獲益々增加しつゝあるが初漁以來の總漁獲高は實に十八萬餘尾を算して昨年同期の二倍以上の豐漁なるが同漁期は六月頃迄なるを以て今春季を通じての同漁獲高は莫大の額に達せん而して漁獲品は殆んど全部開鱈に乾製して順次內地に輸出せられつゝあり相場は最近十四五圓を唱へつゝありたれ共近來需要地支那動亂の爲め輸出一頓挫を來し十圓前後に下落せりと▲國境牛疫發生　一時終熄して其發生を見ざりし國境方面の牛疫は本月中旬頃より又々弗々其發生を見るに至り鍾城郡龍漁面に於ては去る十六日二頭發生內斃死一、撲殺一、德源郡龍德面には十一日より二十日迄に十一頭發生內五頭斃死六頭撲殺會寧郡花豐面に於て十九日一頭發生直に撲殺二十三日二頭發生撲殺せるが倘ほ蔓延の兆候あるを以て當局者は之が防疫策に苦心しつゝあり▲小學校に露支語　淸津港は近く露支兩國に接するを以て商取引其他に於て兩國語の必要は痛切に感ずる所なるが既に淸津公立小學校補習科にては支那語科を設け支那語を講習せしめ來りしが更に本年度より露語科を設くる事となり去月十八日より講習を開始せしが目下生徒廿名に達し居れり

## 大邱

▲聯合品評計畫　慶北道には本年より組織的に各郡を聯合せしめ品評會を開き益々地方產業の開發をなすべく目下各郡聯合品評會計畫中なるが未だ區域は確定せずと雖も大體に於て是を四區に分ち第一盈德、迎日、慶州、第二奉化、英陽、靑松、安東、義城第三聞慶、尙州、善山、醴泉、榮州、第四軍威、漆谷、星州、高靈、達城慶山、永川、大邱とし近々中具體的の確定を見るに至る可しと▲獻穀記念採種田　慶北達城郡站山洞に於ける獻穀齋田は其後本田のみ其儘保存しあるが道當局は是を無意味に終らしむるを惜しみ永久に記念せんが爲め獻穀記念採種田なるものを設け種子は道より配付し道廳指導の下に耕作せしめ初穗は每年大邱府太神宮に獻穀せしむる樣地主崔在馥氏に協議せしに崔氏は喜んで應じたれば道廳にて早速是が準備をなし今秋より採種する方針なりと▲苹果綿虫豫防成績　慶北道にては去る三月以來大邱附近を中心として各地苹果綿虫大驅除を決行せしが是が驅除費九千九百八圓七十七錢二厘（內掘取切斷せし損害高五千九百三十八圓四十三錢七厘を含む）掘取切斷せるもの一千八百四十七本、石油乳劑塗抹六千八百七十三本同乳散布四萬八千四百四十六本にして其後綿虫再發せしもの殆んどなく成績頗る良好なりと▲安溪市場近況　慶北慶州郡安溪にては市場稍々活氣を呈したるも一方日用品騰貴より來たる購買力減少は一般住民生活に少からず影響し實際取引豫期の如くならず目下市場穀價籾四圓二十一錢玄米十圓三錢大麥二圓六十八錢大豆五圓五錢を上下しつゝあり▲醴泉畜產組合　慶北醴泉畜產組合は四月一日附にて認可申請せり

## 浦項

▲一般金融　浦項一般金融沈靜なれど唯農繁期に入りし爲め農業資金の融通行はれ此方面稍々活氣を呈せり▲市場取引　米價の不昧と物價の騰貴とは市場取引を益々切迫ならしめ沈論の域に陷らしむ僅かに牛皮の價格上騰せるは浦鹽方面に注文ありたるによる▲穀價　最近市場穀價不昧なるも籾五圓五十錢玄米九圓九十錢大麥四圓五十錢大豆五圓五十錢なり

## 永川

▲經濟近況　慶北永川邑內を中心とせる經濟近況は久しく沈滯の域を脫せざりしが農繁期に入りしと共に種苗肥料人夫等の諸需要を喚起し是に加ふるに耕牛の賣買最も盛にして頓に活氣を呈し一市每に二百頭內外の取引あり從て金融界に好影響を及ぼしつゝありて市場金利の如きは普通三步を唱へをり又麥況の如きも麥作良好に發育し全般に於て樂觀さる

## ◎勸銀總裁北行

志村勸銀總裁は八日午後三時滿洲に向け出發せり（平壤特電）

## 人事消息

▲韓相龍氏（漢城銀行專務）　釜山共進會へ出張中の處八日夜歸京の豫定
▲緒方多賀雄氏（陸軍大佐）　入京中の處七日夜退京
▲高尾新右衛門氏（大阪每日記者）　同上
▲加藤定吉氏（代議士）　入京中の處八日朝出發車盤館へ
▲安武千代吉氏（釜山辯護士）　同上
▲中村光吉氏（釜山朝鮮銀行部）　七日入京不知火旅館へ
▲竹內維彥氏（工學博士）　七日夜入京天眞樓へ
▲鈴木萬次郎氏（愛國生命社長）　八日朝入京天眞樓へ
▲國分三亥氏（司法部長官）　八日夜九時南大門驛著歸任の豫定
▲井川主計監　六日夜龍山發視察に向ふ
▲森中佐（近衛師團附）　七日夜龍山發赴任
▲廣瀨法制局參事官　七日夜新義州より入京
▲今泉檢査官一行　八日朝元山へ
▲林市藏氏（東拓理事）　微恙引籠り中なりし處全癒八日より出社せり
▲足立東拓殖產課長　黃海道延安郡方面に於ける土地取調べの爲め出張中七日夜歸京
▲松田同社出張所長　同上
▲藤井寬太郎氏（不二興業專務）　大阪出向中の處兩三日中に歸京の豫定

## □臺灣より

打狗にて　文哉生

打狗は南洋への門口といふ考に港には二千五百萬圓を投じつゝ[illegible]候尤も砂糖の本據にてこの港より移出するもの年々五千萬圓は下らずとなり。（四月卅日）

此地方稻は已に穗を垂れ居申候。

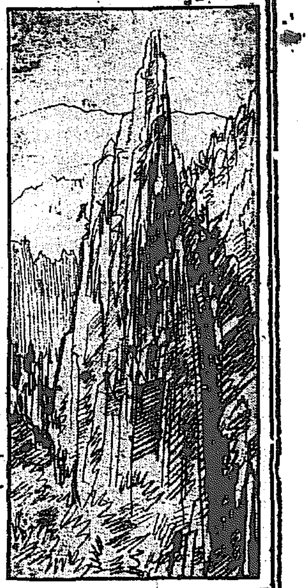
○打狗商館門の絳楽香に

南へ〳〵走する我旅の行手の車窓や雲の峰もゆる

## ◎獨逸の國情

### 國民の英氣—獨帝の信任

倫敦來電に依れば有名なる發明家マルコマー氏は最近聯合軍の戰線を視察して歸來し獨逸の國情につき語つて曰く獨人は未だ英氣沮喪し居らず軍需品の製造も充分なり或はヴエルダンの戰狀捗々しからざる爲國內意氣銷沈の色ありと云ふものあれど予は之れを信せず彼等は依然として終局迄最善の努力をなさんとする決心に變りなきが如し獨帝は國民の信任を維持し居れり各地に傳へらるゝ騷擾の如き地方的又は特種の性質を有するものにして政府の對時局方針に對しては反對の意を表せんとするが如き根底よりに非ず聯合軍は近く一大攻勢に出でんとしつゝある模樣なるが此の一擊に非常の成功を收むるに非ずんば獨逸を膺懲し平和時機の促進は不可能なりと（紐育電報）



# ●外人の觀た金剛山

## 世界に誇るべき一萬二千峯

### ▼諸威フヨルドに似てゐる

フオーレー氏談

予の金剛山一瞥に就ての印象は見物するに價値ある處であると思ふ如何なる旅行家でも見れば必ず感深き山と思ふであらう予は支那へ歸れば能ふ限り金剛山を紹介する積りである

◇金剛山の名は 支那人間にも殆んど知らざる者無き有樣である朝鮮鐵道が此山の爲めに爲したる處は大に努めたりと謂つべく殊に温井里にホテルを建設したと云ふ事はあらゆる旅客の第一に感ずる不便を取除いたものと斷定して差支ない支那人にしても或る地方へ行くよりは或は大連に出て奉天を經由して朝鮮に來て金剛山を見物する樣な旅行の方が時日から經費からも經濟的である即ち其名知られ其實紹介せらるゝに及んで支那あたりからも益々見物人が增加するであらうと思ふ

◇温井里のホテル は殊に避暑の爲めに最もいゝ處だと思ふ途中に挾まれてゐる短い航海も仲々旅行者にとつては嗜好に適したものである併し慾を言へば航海の度數が今少し頻繁になつたら尚いゝと思ふ。金剛山を他に比類を求むるに未だ行つては見ないがヒマラヤ山の壯大が比較になりはすまいかと思ふいや其れよりもよく似た處がある其れは諾威のフヨルドである

◇予は嘗て諾威に 遊んだ事があるが予の經驗した世界中の風景中金剛山に比較し得べきもの而して最もよき比較物としては先諾威のフヨルドを擧げようと思ふ即ち兩々共に壯大で素野な處が非常によく似てゐると思ふ

◇山西省の山にも 奇勝があると云ふ事だけれどもまだ行つた事は無い蜀の三峽の險の如きも稍似た處があるが是又遠く及ばぬ唯予は聊か金剛山に比すべく山東省の泰山を擧げ度い義は泰山より重く命は鴻毛より輕しなど非常に偉大な比喩として引例される泰山には金剛山と似た處が多々ある彎曲した嶮岨な道、突兀たる奇岩絶壁、而して其間に枝振面白き松の生ひ繁つたあたり

◇金剛山にも泰山 にも相通じた處である然し泰山に無い瀑布が金剛山には無數にある是はどうしても及びもつかぬ所である。處が泰山には一里二里位の間隔を置いて必ず休憩所の設備があるので旅行者は疲れては休み疲れては休みして山巓に到達する事が出來る其れが金剛山には無い之は少し手を入れゝば譯なく出來る事だから尚少し

◇旅行者の便を計 る樣にしたらと思ふ 現在に於て金剛山は今言ふ樣に山間の設備も不充分だし汽船の度數も少いし不便も鮮くないが將來に於て是等の設備完成し廣く宇內に周知さるゝにいたらば非常に立派な處となるだらう

### ▼金剛山と泰山

陳國華氏談

金剛山を一言にして言へば壯麗である支那本國にも多々名勝奇景の地はある陝西省の武華山には山中に寺院も澤山あり鳥渡金剛山に似てる樣ではあるが無論比較にもならぬ

### ▼金剛山保勝會設置計畫

安藤鐵道局參事談

萬二千峰金剛山が啻に朝鮮第一の山たるのみならず世界に誇るべき形勝たる事今更喋々の限りにあらず曩に同山の探勝を試みた德富蘇峰氏は之を朝鮮の國寶だと言ひゴルドン夫人は世界の何れの地に比べても絶景の處かあると迄言つたが其名は

◇朝鮮支那には 古來周知されてゐたが日本人外人の間には餘り知られなかつたのを大正三年京元線全通し鐵道局が京元線案內を出して其內に同山を紹介して初めて知れ出して來た雖然山は鐵道線路に遠く交通の便又宜しからず人の行つて勝を探る事の難きは甚だ遺憾とする處であつたが昨夏京城に施政五年物產共進會開催されるに際し數多入京の士に洽く此絶景を紹介せんが爲土木局、江原道廳では平康から金化、金城を經て末輝里に出で長安寺に到る卅六哩元山より通川、長箭を經て外金剛溫井里に到る

◇廿五哩の道路 改修を爲し自動車の通じ得る樣にし更に山間の道路は一部は人力車を通ずる程度に改修し人車の通じ得ない處は步行に便にする樣にした更に江原道協贊會は內金剛長安寺、表訓寺に宿泊所及び案內所を設け鐵道局は外金剛溫井里にホテルを建設し前記平康末輝里間、元山溫井里間二道路に自動車を運轉し英文(ツーリストビユーロー)日文の案內書を作り尙朝鮮郵船會社は元山長箭間の汽船を月三回であつたのを月六回とし鐵道局では

◇南大門から元山 を經て長箭に至る二等往復船車連絡割引券を發行した斯くの如く總督府、江原道、朝郵、鐵道局等相俟つて其紹介に力め探勝の便に資した爲めに共進會開會中は多數の名士を誘致し今や朝鮮は元より日本內地に於て金剛山の名を知らざる者なきに至つた此金剛山紹介の事業は共進會開會と同時に打切るべきものならず朝鮮としては永久に

◇其目的を繼續 しなければならぬと云ふので今春江原道廳、咸南道廳、元山府、鐵道局等は相計つて金剛山保勝會設置の計畫を立て今や着々進捗の途中に在る同會の事業としては先づ

一、山內道路の修理であつて總てに人力車を通じ得る樣にするのは困難だがチエヤー又は輿の通ずる程度と爲すは難くない次に

二、山內宿泊の設備であつて、外金剛には溫井里に日本宿があり內金剛では長安寺、表訓寺に宿り得るが何分設備不充分だから心地よく宿れる設備を爲す必要がある其他爲すべき事業多々ある朝鮮郵船は元山長箭間月六回船舶發着を尙少しく本年六月より十月迄即ち金剛山季節は月十二回以上發着の計畫なし鐵道局は之と聯絡して發賣した二等往復割引券を三等も加へ(二三等通じて單簡ならば三割、十人以上は半額引と云ふ破格の大割引をなし同季節內はホテルを開業させる事にしてゐる

今回京城に日支、東淸、京奉、鐵道院、鐵道局の各線連絡會議開催さるゝに當り之に

◇參列する委員 は何れも旅行業者で名勝地紹介には直間接非常に深い關係を持つてゐる人々で東洋に於ける此方面の最も有力な代表者の集會である即ち此機を利用し金剛山を見せる事は啻に是等の人々を喜ばするに止まらず各方面に紹介する一大勢力のみならず金剛山に關する施設其他に關する意見を聽くにも最もいゝ機會と思つたのである

# ●暴風全鮮を襲ふ

## 家屋其他の被害—船舶の難破

### ▲數百戶屋根を吹き飛ばさる 京城附近の被害

七日は全鮮に亙り近來稀なる暴風吹荒び各地の被害頗る多き見込なるが京城及び京城附近での被害を擧れば本町署管內にては署長官舍の板塀二間餘倒壞し古市町の新地裏手の

▲大松が三本 吹き倒され又光熙門から東大門に通ずる道路の中間なる小橋の附近に周圍九尺

▲許りの枯大木は吹き倒され通路を遮り居れり又は同日午後一時頃新町料亭浪月庵近藤某方後方大松二本俄然吹き倒されて同家の屋根上に橫はり屋根瓦其他を破壞せるが此損害約八十圓人畜に死傷なし南山公園にては電柱二本倒れ看板の墜落草葺屋根軒燈等の破損數知れず鍾路署管內にては立木の倒れしもの六本家根を荒されたるもの四戶損害約百十圓看板の破壞されたるもの十二箇龍山分隊管內にては漢江麻浦の渡船場附近で

▲難破船が五隻 あり其內三隻は風の爲めに吹き流されて行衞不明となれり此損害約四百圓尙屋根を吹き飛ばされたるもの二十戶損害約二十圓其他樹木の倒れたるもの數本あり高陽署管內にては物置小舍一棟倒壞し屋根を剝がれしもの四百五十七棟樹木の倒れたもの四十九本等也

### ▲帆船九隻沈沒 仁川港內の被害

七日は近來稀有の暴風にて仁川港に碇泊中の仁川本町慶田利吉氏所有の第十一治寧丸同氏所有團平船第八川內丸 仁川本町大平友市氏所有第十八福島丸同氏所有第八福島丸仁川濱町野口文一氏所有の大正丸同氏所有第三菱州丸仁川支那町槇殿松氏所有備後丸及び濟州島舊石面貴東里李昌國所有の無名小型帆船仁川本町大平友市氏所有の第十二福島丸は何れも暴風の爲め沈沒したるが何れも帆船にして此損害價格船體積荷共千八百四十圓なり又た仁川本町川手今吉氏所有の朝日丸は今日碇船中の汽船嚴島丸に荷積の爲め同船の舷側に繫留中

▲同船と衝突 し大破(損害百圓)を蒙り仁川山手町加藤々太郞氏所有の團平船第六號は土木局仁川出張所築港工事用の石材四十五噸を滿載して猫島沖合に碇船中錨綱を切斷せられ危く沈沒を免れたるも大損害を蒙りたりと(仁川電話)

### ▲白楊の大樹吹き折らる

六日夕方より吹き出したる風は七日午前六時頃より暴風となり平壤市街の屋根看板を吹き飛ばし板塀を倒し樹木の折傷されたるもの甚だ多し官廳側の損害としては憲兵隊の板塀六十間程吹き倒され府廳の揭示板も三間程飛ばされ民間側にては東拓出張所の板塀全部倒壞大和町通龜屋の屋上に揭げたる長さ三間幅一間の大看板は凧の如くに吹き飛ばされ警務部前の旅館門口の白楊の大樹は高さ二丈位の所より折斷されたり電信電話の損害等なきも混線のため故障を生じたる所數箇所あり其他各戶被害多し(平壤電話)

### ▲暴風未だ歇まず

七日夜來豪雨あり八日朝暴風となり屋根を覆し大木を倒し其他汽船の遭難多き模樣風尙歇まず(淸津特電)

### ▲東部連絡杜絶

八日午後西方の暴風起り一時より鐵道並に東部關門連絡全く杜絶せり門司側海岸は激浪襲來し帆船二隻沈沒せり尙救助中の者多數なり(門司特電)

# ●汽船沈沒

## 六連島でトロール船と衝突

大阪商船會社下關門司航路汽船高濱丸(四五四噸)は七日下關發秋穗へ向ふ途中六連島附近へ避難假泊中トロール船小野丸と衝突し二十分にして沈沒せり乘客五名乘組員二十三名は何れも小野丸に救助せられたるが積荷少なく損害頗る輕微なり(門司特電)

# ●鮮やかな馬上の仕合

## 乘馬倶樂部の春季試乘會

七日の日曜は風が酷かつたけれども黃金町五丁目の乘馬術練習所は午後一時からなか〳〵の賑はひであつた、電車で花園町へ降りると間もなく

▲右手の畑地に は新らしい馬術練習所の建物と新らしい埒で圍はれた八百坪の調馬場とが設けられ柵の周圍にはまた紅白の幔幕が引き廻されてある、試乘は先づ會員の調馬索運動から常步、馬上體操、速步各個運動などに始まり次いで森氏と牧野助教の面白い輕乘があつた、次ぎはまた各會員の駈步運動から來賓の騎乘が始まり二蹄跡運動、四騎運動、馬上劍術等も試みられた、其の中また龍山騎兵聯隊の將校が試みた

▲高等馬術には 高飛び幅飛びなどの巧妙なものもあつて終りに野村師範の各種運動も大喝采であつた、斯くて午後五時頃試乘が終ると共に場內天幕張りの裡では新練習所の落成祝ひが始まり卓子には井口軍司令官、古海總長、隈部警務部長、尙本參謀長等の軍人側を始め小松課長、松永道長官、鈴木局長、村田、中野玄角兩參務官等の人々から憲兵隊、總督府、鮮銀あたりの會員一同が集まつて賑に

▲近來の盛會で あつた、猶ほ寺內總督からも酒肴の寄贈あり高橋武官大藤副官の來場もあつた、婦人席にはまた井口、小松、鈴木、村田、菱田氏等の美しい家族連も見られたが斯くて宴闌なる頃野村師範は起つて謝辭を朗讀し古海總長また乘馬倶樂部會長として祝辭をのべ終りに井口軍司令官の挨拶もあつて午後六時閉會した

# ●水雷長を斬る

## 伊吹艦上の慘劇

去る六日午後六時半頃吳鎭守府に碇泊中の伊吹艦上に於て宮田兵曹なる者大斧を以て水雷長堀少佐を滅多切に斬り付け遂に殺害したり原因取調中(東京電報)

# ●篤行者表彰式

京畿道表彰規定に因り京城府は管內に在りて多年慈善公共の事業に貢獻せる事多大なる閔裕植、佐竹權太郎の兩氏に對し八日午後二時より學校組合樓上に於て松永京畿道長官臨席の上表彰式を行ひたり兩氏に對しては何れも京畿道長官より銀時計各一個を贈與して今回の表彰記念とせり

# ●遣露救護班の入京

日本赤十字社遣露救護班上野博士以下一行廿名は八日朝安東縣發同夜南大門著入京の筈にて京城二泊の上十日朝南大門發歸東の途に就く由

# ●連絡船の缺航

七日夜入港す可き對馬丸は海上風波の爲下ノ關に引歸し關釜連絡は缺航せり(釜山特電)

# ●航海中溺死す

北鮮沿岸を航海せる松山丸乘組水夫山形縣人久保田直記(三四)は三日午前五時同船が江原道蔚珍沖合を航行中誤つて海中に陷りたるを他の船員が認め大騷ぎとなり直に機關を止めて停船しボートを卸して附近を搜索せしも屍體を發見せざりしを以て已むなく同船は航行を續け淸津入港と共に其旨警察署に屆出でたりと(淸津)

# ●京城時計商運動會

京城時計商組合は九日の午前十時より漢陽公園にて春季大運動會を催し組合の店員約百二十人にて二十餘番の運動あり番外には角力自轉車曲乘等ありと

# ●大典活動と光州

本社及び每日申報支局主催の御大典活動寫眞は七、八の兩日晝夜開會晝間は軍隊學校夜間は一般市民の拜觀ありたるが共に滿員の盛況を呈せしも場內は頗る嚴肅なりき(光州特電)

# ●スミス氏の雨中飛行

奈良に於て飛行中のスミス氏は七日正午折柄の大雨を冒かして宙返り飛行を擧行せり之れを以て雨中飛行の嚆矢となす(奈良電報)

## 灯ともごろ

前の日本人商業會議所に功勞のあつた人々に近々の內に金牌を記念として贈る事になつて居る相だ▲處が京城民團解散の時に記念として贈られた金盃は既に三つ迄鑄潰されて而かも一個の潰し値が八十何圓になつたまで知て居るのは近來苦々しい話ではないか▲今度の商議の金牌は潰せば一個時價十五圓になる相だが今後は鑄潰し沙汰などは聞きたくないものだ▲金の話の序だが近い頃の事左る紳士の宅へ或る貴金屬商から月末のツケが廻つて來た▲奧樣が手に取つて見ると一金二百五十圓也寶石入御指輪一個代「さては」といふので早速勸め先に電話を懸る數時間の後には御家騷動となつたとは之も苦い話

殺人未遂の判決

天氣 晴一時曇


大活躍の五月號 文藝倶樂部 定價廿八錢郵稅二錢 東京本町 博文館

戯曲 おさん茂兵衛(?)……吉井勇
小說 赤い花……田村俊子
小說 湯の炎……饗庭篁村
小說 春雨の夜……鬼太郎
演藝 當座帳……劍太郎
歌舞伎の十六夜清心……春浦
新代の八重桐……青々園
界飛行記……曉紅

嗤へり五十萬圓……
五月幟と鍾馗樣……雨生
誰が太刀を取ろ……江口渙
大供の人形あそび……深草木偶
二萬坪のヒルム撮影場……深海泡沫
花柳危險區域……田村西男
北廓のロシヤ酒場……濱村米衞
當世女中氣質……里の火
探偵小說 黑澤家の秘密……岡本綺堂
情話 瀧の家のお瀧……大島伯鶴

鉛鑛買入開始
▲從來金、銀、銅、亞鉛、重石鑛等買鑛致居候處本月ヨリ更ニ鉛鑛買入開始仕候ニ付鑛量ノ多少ニ不拘續々御送鑛ノ程希望仕候
▲前記鉛鑛中含有ノ金銀ニ對シテハ相當ノ代金御支拂可申候
▲目下選鑛場建設中ニ付之カ竣工次第鉛ノ貧鑛モ御引受可申候
大正五年五月
久原鑛業株式會社 鎭南浦製錬所

▲見よ! 時代要求の珍書出でたり 好評嘖々
前列米法學博士苗田三三郎先生序 文學士佐々木金三郎先生序 ドクトル鈴木潮先生跋
鴨田脩治著 產兒制限論 避妊の研究 六版 定價五十錢 郵稅八錢
◎少く產んで多く敎育せよとは本書の主眼なり、今や避妊の研究は既に實行時代に入りて成績顯著也是れ世界を風靡せる生活難救濟子孫繁榮の一大根本策一讀あれ

第十二版 長身肥滿法 せの低き人やせたる人
本書によれば高くなり病後產後其他の瘦せて悲嘆せる方は生れ付の人にても忽ち肉付强健となる不思議の療法なり世間短軀又は瘦身の人は非一讀あれ
◎陸軍砲兵曹長與藤久榮著 ◎郵券廿五錢送附あれば直に送本す
◎發行所 東京本郷丸山福山町四番地 日本藥學協會

青竹 直輸入大販賣
左官材料 材木問屋
釜山材木町一丁目 島末商店 電話四五四〇番

優等清酒
釀造元 福岡縣三井郡山川村 富安本店
發賣元 京城永樂町二丁目 富安京城支店

# 京城の城壁(8)

高等法院判事 淺見倫太郎氏談

李朝の太祖李成桂が京城に國都を定むるに至つた事は曩にも述べたやうに僧の無學に關するいろ〳〵な傳說があるけれどもそれは「晝永編」の著者鄭東愈がいふ通りいゝかげんの風說であらう、元來朝鮮には此の種の風說とか妖言とかいふのがなか〳〵眞しやかに言ひ傳へられた例が尠くない、現に大廟前にある石の如きもあの石が一夜ひよつこりと飛び出したので必ず國に變事があるに相違ない……などと云はれたものだ相だが、あれなどもよく調べて見ると實は肅宗時代に作られた晷時計の臺石である、晷時計はむかし京城の各所に置かれたもので今でも東廟や李王職博物館などに遺つて居るが、何うも朝鮮には悠長な風說が多いやうである、これは餘り主要な城壁と遠ざかり過ぎた話しであるが次ぎには京城の地圖に就いておはなし爲よう

(京城日報紙上に揭げられた古き「首善全圖」の斷面は現に國都氏が)板木も藏して居られるやうで却々興味深きものであるが自分の處にも二三種古い地圖がある、先づ首善全圖よりも古いものには「東輿攷實」といふのがあるが此圖面には京城、々廓は描かれてあるけれども其後方につゞく北漢山城が記されてない、これは詰り北漢山城が築かれたのは京城々壁が築かれたよりも後代のことであるから地圖の作られたのも(矢張り北漢山築城以前)のことであらう、始め自分は此の地圖の製作者の誰れなるかと些つとも解らなかつたのでいろ〳〵とそれを調べつゝある間或時宋時烈のかいた文中にその製作者が鄭之溍といふ人であることが解つた、時代は確か肅宗の時であるが當時「中華攷實」なる書物の序文に朝鮮にも非常に細かい地圖を作る人が居つて其人は輿地勝覽によつて東輿攷實なる細かい地圖を作つたのであると宋時烈がかいて居る(これは獨り京城のみならず朝鮮全體の圖面であつてなか〳〵詳しい書物である、次ぎには金正浩といふ人の製圖した「輿地圖」一名「青邱圖」といふのがあるがこれには京城、々廓は勿論其の後方三角山にある北漢山城や行宮をも記されてあつて猶ほ朝鮮半島の全體を恭繼目形にして引してあるが索引は非常に便利に巧妙に出來て居る、そしてまた書物を二冊合せると番號により立派につゞくやうに出來て居る

第三には「大東輿地圖」と云ふのがあるこれは近く哲宗の末年に出來たもので製作者は古山子とばかり一向不明であるがこの地圖は半島の東海岸から西海岸に到る間を横斷りにして造つた地圖で道路には朝鮮の十里(即ちわが一里)毎に黒點を記しなか〳〵正確に製圖されてある、これは初めに私が參謀本部の地圖などの基本となつたとかのはなしもあつてなか〳〵正確に出來て居る、猶ほ特に京城のみの圖面も製られてある

## ●一秒時間に十一米突 京城では珍らしい暴風

七日午後の暴風は京城附近に於ては近來稀に見るの強烈なるものにして隨つて其の被害も亦尠からざりしが京城測候所長の談に依れば六日午後より黄海道に現はれたる低氣壓は左して濃厚のものに非ざるも

▲朝鮮南部を通過し日本海に進出するに至り其の濃度俄かに深くなると共に其の進行亦速かにして七日正午に於て元山浦鹽方面の海上は晩春の候には珍らしき七百三十六ミリメートルを示したるが一方低氣壓通過後朝鮮全部に亙りて支那方面に發達したる七百六十六ミリの高度を示したる高氣壓來襲し日本海に在る低氣壓とは其の差二十五ミリの烈しき傾斜を生じたる爲め

▲滿州及び朝鮮各地共に北西の烈風吹き荒さび恰かも冬期にれたり而してペトロパウロスク要塞に於ける三寒四溫の寒氣襲來の兆候と等しく氣溫亦非常に降下せり京城に於ては七日正午より烈風より暴風に進み午後六時迄吹續き其の風速最も强き際は午後二時より三時の間に在りて一秒時間に十一米突一を示したり京城に於ては一秒時間に十米突以上の暴風は極めて稀に見る所の强烈なるものとす午後七時に至り漸く

▲暴風は境を脫したるが午後十二時頃まで吹き止まざりし爲め平均風速は九米突八を示したり風向は西北西にして大連、木浦、仁川、釜山等何れも强風以上の示度を見たり

◎大正齒科醫院の開業 京城南米倉町に開業せし大正齒科醫院主任所長茂氏は支那各地に於て多年齒科醫術に從事中支那動亂の爲め同地を引揚げ京城に來り今回の齒科醫學士横矢重包氏を東京より聘し前記の場所に於て開業し一般患者の診療に從事する由因に横矢氏は日本齒科醫學校卒業後同校に於て三ヶ年間實地研究に從事せし人なりと

## 京城日報每日申報各支局主催 御大典活動寫眞

■大田(九、十日晝夜) ■仁川(十二、十三日晝夜) ■大邱(十四、十五、十六日晝夜) ■釜山(十七、十八、十九日晝夜)

京城日報、每日申報の現購讀者は各等三割引のみならず同時に二等入場券四枚購入の方には御希望に應じ兩紙の中一つを一箇月間無代進呈

## 活動寫眞巡業日程

■大田—大田座—(晝間午後一時より 夜間午後七時より)番外實寫物—滑稽物—西洋奇術

主催京城日報、每日申報大田一手販賣所小倉新聞舖

## 釋尊降誕會

◎鳳閣寺 旭町一丁目眞宗鳳閣寺に於て來る五月九日(舊四月八日)釋尊御降誕に相當するを以て當日は例年の通り早朝より釋尊降誕大法會を修行及び脫殼甘茶の供養を行ふ

◎曹谿寺 大和町三丁目遞信局官舍の上なる曹谿寺にては九日午前より終日卯月八日釋尊降誕の翌日に付甘茶の接待を爲す參詣人は降誕花御堂前に於て灌佛を爲し得る準備あり

花よりも まづ木村屋のパンの味 京城明治町木村屋電話二八七〇番

◎興國寺(龍山) 來る九日は舊曆四月八日に相當するを以て例年の通り釋尊降誕會を修行し午後二時及び八時の兩度布教師の說教あり參詣者に甘茶の接待をなす

## ●前露國陸相は極刑 戀に溺れて獨探に乘ぜらる

前露國陸相スホムリーノフ將軍に對する斷罪は最も世人の耳目を聳動せしめ將軍在職中の罪跡は有罪と宣言されたるのみならず國事犯と看做されたるに於ける判決は斷罪の最も極刑なるものなり(露都電報)

記者曰くホムリーノフ將軍は陸相在職中一貴夫人の容色に耽溺したるに乘じ獨探に乘ぜられ國家機密を奪はれたる事度々今日に至りたるもの也

# 商況

## 東京株式特電

| 八日 | 前場寄付 | 大引 |
|---|---|---|
| 日本郵船 | [illegible] | [illegible] |
| 京城電氣 | — | — |
| 鐘淵紡績 | [illegible] | [illegible] |
| 同新 | — | — |
| 日本麥酒 | [illegible] | [illegible] |
| 東株第一 | — | — |
| 東株第二 | [illegible] | [illegible] |
| 東新第一 | — | — |
| 東新第二 | [illegible] | [illegible] |

## 債券現物特電 (前日との比較)

八日川來値段

| | |
|---|---|
| 東洋拓殖 | [illegible] |
| 京城電氣 | [illegible] |
| 朝鮮銀行 | [illegible] |
| 朝鮮瓦斯 | [illegible] |
| 南滿鐵道 | [illegible] |

## 公債直取引特電 (前日との比較)

| | |
|---|---|
| 六日川來値段 | |
| 東京 | [illegible] |

## 深川在米特電

| 八日現在高 | |
|---|---|
| 甲 | 八二、三〇〇 |
| 二回四分 | 八一、三〇〇 |
| 一回四分 | 九五、八〇〇 |
| 五分律 | [illegible] |

## 東京期米特電

| 八日現在高 | |
|---|---|
| 朝鮮米 | 一〇一、八八八 |
| 蕃地米 | 八三、七九七 |
| 內地米 | 二〇五九、三三八 |

## 大阪期米特電

| 八日前場 | 當限 | 中限 | 先限 |
|---|---|---|---|
| 寄付 | 四八六 | 四九八 | 四八六 |
| 高値 | 四九四 | — | — |
| 安値 | — | — | — |
| 引け | 後場 | | |

## 大阪株式特電

| 銘柄 | 前場 | 後場 |
|---|---|---|
| 宇治川水 | [illegible] | [illegible] |
| 神戶電氣 | [illegible] | [illegible] |
| 京阪電氣 | [illegible] | [illegible] |
| 和歌山紡 | [illegible] | [illegible] |
| 合同紡績 | [illegible] | [illegible] |
| 同上新株 | [illegible] | [illegible] |
| 東洋商船 | [illegible] | [illegible] |
| 大阪商船 | [illegible] | [illegible] |
| 日本郵船 | [illegible] | [illegible] |
| 大阪米穀 | [illegible] | [illegible] |
| 東京新株 | [illegible] | [illegible] |
| 大阪株式 | [illegible] | [illegible] |

## 大阪三品特電

| 八日後場 | 寄付 | 引け |
|---|---|---|
| 五月限 | 一三三、二〇〇 | 一三三、四〇〇 |
| 六月限 | 一三三、二〇〇 | 一三三、七〇〇 |
| 七月限 | 一三三、五〇〇 | 一三三、七〇〇 |
| 八月限 | 一三四、八〇〇 | 一三四、〇〇〇 |
| 九月限 | 一三四、一〇〇 | 一三四、八〇〇 |
| 十月限 | 一三四、九〇〇 | 一三五、五〇〇 |

## 下關期米特電

(大阪高の刺戟に漸落)

八日前場しも値段賣に漸落

| | 中限 | 先限 |
|---|---|---|
| 寄付 | 三三五 | 三四〇 |
| 高値 | 三三五 | 三四〇 |
| 安値 | 三三八 | 三四〇 |
| 止め | | |

## 雜報

### ●關東製粉の其後

東京市況は目下竹睡辨天印を通じて二圓三十六七錢所を維持せり勿論間屋筋の圖りたる賣物途切れたるに原因すべし而して製品の小締り來れるに反して原料小麥は地方工場納め九升七合位東京各製粉社納めは九升三合乃至九升五合位なり去れど大體は持品を放行に賣片附けん方針なれば新小麥の出廻時期の接さて農家も手多少の安値は免れ難き事情にあり去れど製品は日鮮在荷の近時大に減退せる事と日滿は比較的手持薄の關係もあれば會社側の態度自然と强固なるは至當の事にして更に亦東亞製粉に於ては五六兩月の供給品あれど之さとて各特約者に賣約せる物のみにて新規約定は見送りつゝあり要するに古粉の商狀は今後高下の市甚だ少き模樣なれども新小麥は六ヶ下旬に入らざれば取入れ不能にして從つて相場の知きも一斗五合乃至一斗一升見當なれば仲間賣買も味入れたる商談行はれず勞七八月の新粉の發表も切はれざるが大勢は二圓二十五錢乃至二圓二十錢位の所なるが如し

## 下關相場

### ●山城新茶の初荷

山城宇治新茶の大走りは八日當地業店に約一貫目到着せり尙ほ一兩日中に續いて一貫目の入荷あるべきるが賣値は一斤に付二圓見當なりといふ

▲朝鮮白米は活氣なし其後も叺の廻着に過ぎざるのみならず産地の人氣安からずして不引合を唱へ各米主の希望り急がざるに依り格別相場の低落を見るに至らず然れども何分內地正米との比較上買人の高値は窮まざるにも依り賣れ行き捗々しからずして市況は依然として出來値は左の通りなるも矢張當用小口の手合せのみ

▲大豆は矢張手堅し 既報の如き事情の下に別段買進む相人現はれざるも其後の出廻り多からぬのみならず依然産地高不引合を備に各手持筋の氣張り居る爲め矢張市況手堅く元山灣背百叺口は九圓九十錢に手合せ行はれ其他弗々の出來値は左の通りにて其後の輸入は永洞産百十叺の物二百五十六叺着なり

▲小豆は變らず 其他安東縣産百六叺大孤山二花小豆二百十叺等の輸入ありしが依然産地高不引合を備に各手持筋の氣張り居る爲め賣れ行き捗々しからぬにも拘はらず賣人氣狂はず

| | |
|---|---|
| △永洞大豆 | 九圓九十錢 |
| △深川大豆 | 九圓九十錢 |
| △同 | 九圓九十五錢 |
| △元山大豆値上 | 十圓十五錢 |
| △同 | 十圓二十錢 |
| △同大玉 | 十圓七十錢 |
| △同鎭南浦大豆塊口 | 九圓九十錢 |

## 京城正米

頃來地廻りに比し買易かりし京畿地方も昨來又々不引合の聞きを

### 仁川米豆取引所仲買人 ㊐仲買店 まるみや 支配人土居 電話二八二番

### ●海産物不勢

鮮魚入荷漸増の時期に入りて一般之荷動き頗る不活なれども米鮓は最早時季に經過し其內にも米鮓方面に於ては京城へ稅戾され居る同地在品は場合に依り一兩日中に少數ながら入荷あるべき筈にて氣配は益々不勢なりよりは支那行き良好入氣頗る悪しき附けの人氣あるも賣狀不良の當然なり其他何等の反響なき浦鹽鰈の不良と共に益々安く明太魚も又頗る

### ●鐵板は昂騰

大阪鐵板は最近百斤に付約五圓方の昂騰を告げたり

### ●平板眼先安

平板は最近の大阪情報によれば原因は確かならざるも輸入の關係と需要の不振にあるが如く從つて當地も漸々幾分價格の低落免れ難き傾向なり

### ●洋釘更に低落

洋釘は近來尙漸落の歩調を辿めず昨今にも安物の輸入もあるかにて當地此處一兩日中には物により一圓方の値下げを見るべき模樣なりしも手持の關係より一般市中相場の低落を見るや否やは今の處疑問なるも尙安に靡き易き昨今の狀態なれば一部同業者に於ける最初の値下げは軈かて之が一般の相場となるかれ能はざるべし

### ●綿糸新高値

一時行き惱みの氣配を呈せし綿糸も大盤が買氣乘りの機先を制し其後綿高等の好材料に再び上向歩調に復せしが休日明けの今前場は餘勢更に一段人氣を昂め三品市場の如く當限百三十三圓四十錢先限五圓五十錢と本春來の新値を現出するに至りたり目下不需要期月の到來に聊か先行き懸念の蟠まりなきにあらざるも今後の材料次第にては更に一跳ねあるべきか

## 京城雜穀

小豆は其後格別變はらず人氣強含みの値持合ひの姿なり綠豆又變はらざるも値高の爲め賣値へさなり商內捗々しからず粟も同樣買氣溜にて相場も上物限の五圓一二十錢處なり大麥は一時賣際の瞬買見越しに産地賣惜み氣味なりし處地方在荷も案外多かりしか其內にも割安の賣物の現はるゝありて持主の豫想通りに運はず甚後氣配は知つてヤリ〳〵引弛み歩調と成り昨今の處三圓八十錢唱へにて高値より約五十錢安の見當なり

## 南大門の廻穀

### 仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目 三巴仲買店 電話三一二三一 信號(三巴)

| 七日分 | | |
|---|---|---|
| 俵繩玄米 | 二五〇叺 | 成歡白米一六叺 |
| 西井里玄米 | 二八叺 | 平澤玄米一七叺 |
| 論政府粗 | 一七五叺 | 水原白米六〇叺 |
| 儀旺大麥 | 四四叺 | 天安玄米五六叺 |
| 烏山玄米 | 一九七叺 | 天安粗九一叺 |
| 平澤玄米 | 一八九叺 | 天安白米六五叺 |
| 全義玄米 | 一六二叺 | 天安碎米二八叺 |
| 天安白米 | 三三叺 | 平澤白米一六叺 |
| 大田粗 | 一七五叺 | 南市粗三五叺 |
| 八日分 | | |
| 鳥山玄米 | 一一七叺 | 汶山白米一六叺 |
| 平澤玄米 | 二二三叺 | 金村白米一七叺 |

## 仁川現物市場

▲鮮米入津八十俵 氣配依然強含みにて漸く少數の賣物出で居れり

▲正米は昨日も入荷なし 人氣は強きにあらざるも保合

## 釜山穀物市場 六日

米(強保合) 昨日來氣配少しく引締りて強保合の商狀にありしも昨後は二錢方値下げを報じ來たりしが何分需要薄にして本日も氣配は二千九百五十錢位にて出來たり

| | |
|---|---|
| 玄米 | 二九、〇〇個 |
| 白米 | 二八七〇 八〇 |

小豆は相變らず品拂底の爲め取引なし

## 仁川期米

| 八日前場 | 大阪前市 | |
|---|---|---|
| | 五圓二十八錢 | |

▲八日前場 入電一節二十五錢上放れ止より十三錢上放れ

▲小安き移り九錢より六十一錢と跳ね五十八錢に押して引ける先十一圓九十錢と四十錢高に寄付け十九錢七錢と押して當地市場は小安移り不申十二錢は依然

新高直に上伸 八節二十物多きと大阪筋の押目錢九十二錢と依然保合の裡に放合

一錢と安移り押し九錢八十七錢と返し

## 行賀仲買店 仁川海岸通 電話三九〇番 振替京城一二〇

▲八日前場 中限 五十九錢 ㊀十一圓九十一錢平均値段 六十一錢 先限 ㊀十一圓五十八錢 [illegible]

## 市場零聞

## ▲前場伸び惱む

大阪よりの上放れを報じたるも跡小安き移りにて十一圓九十錢と寄付けたるが㊀より引立ちたる買物に圓は九十二錢

## 仁川米豆取引所

### 八日の七月限

| 前場 | | 平均値段 | |
|---|---|---|---|
| 寄付 | 十一圓九十錢 | 一節 | 十一圓九十一錢 |
| 止め | 十一圓九十八錢 | 二節 | 十一圓八十一錢 |
| 高値 | 十一圓九十二錢 | 三節 | 十一圓八十八錢 |
| 安値 | 十一圓八十七錢 | 四節 | 十一圓八十九錢 |
| 出來 | 一萬八千百石 | 五節 | 十一圓八十九錢 |

### 賣買取組高

| | | |
|---|---|---|
| 五月限 | 三千四百石 | 前日と比較 |
| 六月限 | 三萬二千五十石 | 七高 |
| 七月限 | 三萬三千五十石 | 二高 |
| | 二萬三百五十石 | 六高 |
| | | 四高 |

| 六日後場 | |
|---|---|
| 一 | 一、八三 |
| 二 | 一、八六 |
| 三 | 一、八六 |
| 四 | 一、八三 |

## 北濱だより

### ▲東新と當株

東京株式今季の配當は二割五歩を豫想せられ大阪株式は一割四歩乃至五歩の豫想であるから配當の上から言へば一割の相違である、ども東新と當株の鞘が二十五圓以上も開いたのは知らぬが東新の二十圓切以上の開きとなつた以上は東新を買ふよりも安い當株を買ふ方が利益なりと某黒人大手筋の如きも早晩其鞘の詰まるを見越して東三當の當株買を試みつゝあり

## 小賣白米

| | |
|---|---|
| 上白米 | 十四錢 |
| 中白米 | 十三 五厘 |

# 演藝案內

## 黃金館 黃金町四丁目 電話二六三七

大然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店

○五月六日より差替特別大寫眞 ○喜劇 サンミーの紐(喜劇サインの夢)△市川左團次の十八番

◎舊劇 細川血達摩 最長尺 殿より不義密通呼はりせらし大川友右衛門は逸の寛罪晴れ切腹して御朱印を取出すと云ふ壯烈なる御家騷動劇 △丁村ノル ○ 變裝士官 全四卷 ◎泰西大悲劇 ◎新派大悲劇 白菊草紙 全三卷 △井上正夫 木下吉之助

## 壽座 本町 電話五七八

○改正 義團一行 五月八日藝題 朝鮮新聞小說 男ごゝろ

## 浪花館 明治町 電話二六〇番

大阪親友派女流浪界の名人廣澤小菊丸 九月七日より ▲大名五郎藏(廣澤下代)▲千兩幟(廣澤松鶴)▲天保利根の血煙(廣澤虎)▲刑事苦心七化お瀧(京山光治)▲丸龜の大仇討(座長廣澤虎吉)千代)▲辨慶勸進帳(廣澤虎

入場料大勉強一等三十錢二等二十錢三等十錢 晴雨に不拘毎日午後正六時開演仕可候

## 大正館

(如沸……大好評 新派大悲劇 小夜子 毎夜館內淚の海と化す)

日延べなし

## 大正館 櫻井町 電話八七三

八日讀物 難波戰記(吉田千代丸)京山恭菊(女大夫吉田奈良)菊人(大津事件津田三藏長講)二席(吉田音右衛門)新慶勸進帳長講二席(女座長吉田八千代)三味線(京山菊路)

## 詩館 壽町 電話一〇五〇

五月五日より特別大寫眞 ○賞高歐洲戰亂記錄 ○ ◎舊劇 江戶の俠客 稻葉新助 全三卷八十二場 ◎泰西奇談呪の寶石 全三卷六千呎 △伊太利サヴィア會社傑作 ◎新派大悲劇 小夜子 全二卷三十二場

## 御成座 御成町 電話二九一

三府合同歌舞伎 市川海老松 阪本龜鶴 大一座

五月九日初日藝題 前 祇園祭禮信長記 中 三番叟引拔 切 曾我物語 全五幕 全二幕

直輸入 卸商 京城府南大門通り三丁目 ㊝福田又京城支店 電話一二二番 振替京城二九二番

鐵ト浪平板

毎月商報發行致居り候條御一報次第御郵送可申上候

諸官衙 御用達 洋藥 賣藥 卸問屋 醫療及試驗器械

くすりは山岸

懇切叮嚀、迅速確實に市內配達及び地方通信販賣致居候 京城本町二丁目郵便局前 山岸天佑堂 藥品部 器械部 電話 一二二 一〇七 六〇二 振替貯金口座 京城二〇三

京城旭町一丁目 內科小兒科 小林醫院 入院隨意(普通病室並に隔離病室) 醫學士 小林千壽 電話六九二番

人體に必要なる燐と鐵との効力を極度に發揮せしめたる滋養大劑 次亞燐

特効 ▲神經衰弱 ▲消化不良 ▲發育不全 ▲精力減退 ▲榮養不良 ▲老衰虛弱

定價 大瓶 貳圓也 中瓶 壹圓參拾錢 小瓶 八拾錢 ▲各藥店にあり

本舖 大阪道修町 藥劑師 小西久兵衛

蠶具 蛾框 臺紙 其他一式 卸販賣 京釜線大田 東洋蠶業株式會社出張所 東蠶社 電話一〇七番 電略トサ 振替京城一二六二番

外の目藥にて效なき人は試みよ スグに効ある目藥 登錄商標 直治水 主効 トラホーム 風やにめ はやりめ うみめ かすみめ めくさ 其他眼病諸症に特効あり (点眼器付)價十錢、廿錢 本舖 大阪 東京 丹平商會藥房 全國各藥店ニアリ

ゴム外套地 ●防水布雨着 其他雨具一式 見本附定價表無代進呈 東京市京橋區南槇町 防水布雨着問屋 福田豐三郎商店 電話京橋三七九三 振替東京八〇四五

白眼女は朝鮮に起きて物價に朝鮮の準備をなし居れるを認めたる河原に怒り同女の背部を毆り腰部を

## ●重石盜掘事件

平安北道昌城[illegible]の處分となれり 基[illegible]事情を明かにして一圓七十錢にて賣却し尙三日同樣一斗を盜掘し許

## ●地洋丸事件審判

香港港口[illegible] 長野[illegible]事官[illegible]審判出張所

## ●連絡船上陸客

七日午前釜[illegible]

## ●解警戒

全部の警戒を(五月六日)

豫報

| | |
|---|---|
| 八日正午 京城測候所 | 五十九度五分 |
| 仁川 | 十五度三分 |
| 中最高 | [illegible] |

| | |
|---|---|
| 日出 | 五時十八分 |
| 日入 | 七時二十分 |

# 宮本武藏

第三十二回

桃川如燕口演 浪上義三郎速記

宮本武藏眞劍を執つて其所に進んだが十兵衛先生の様子を見れば無念無想の體眼を半眼に閉ぢ枯木の如く突立つて居ります、身體四方開けつ放し、透體があるといふのではない身體中皆んな透體だ、流石宮本も打込む事が出來ないから暫時猶豫して居る、家來の面々も不思議な立合もあるものだと思つて居る、其の中十兵衛先生左右の手を前へ突出してヒタリと構へた、敵の身體が變化したに依つて武藏も構へを活殺に直しジリ〳〵と其場へ進んで劍下に敵の様子を見れば、流石十兵衛三厳先生の身體恰も霞の中にある如く、突出した二本の腕は百本に餘るかと見ゆる更に打込む透體がございません、即ち柳生神蔭流の中眞劍白刃取り、假隠れ鬚隠れの妙術、恐入つたから武藏得物を捨てゝ飛退り 武「御流儀の玄妙恐入りましてございます 十「ハヽア分つたか 武「相分りました 十「之が柳生流の極意ぢやどうだ十兵衛老年には及ぶと雖ども技倆は斯くの如し、其方等の及ぶ所ではあるまい 武「ハッ 十「分つたら宜しい速やかに退散いたせ、併し其方も仲々能くいたす、猶怠たらず修業いたさば屈指の遣手となるであらう、半平早々宮本を連れて歸れ 半「ハッ」半平も何だか分らんから變な顏をして居る宮本は一同へ挨拶をして半平同道退出致しました、其夜は半平の宅へ一泊致す積り半平も 半「扨宮本先生誠に御氣の毒千萬で厶いました 武「イヤ拙者こそ御厚情に預り千萬忝なう存ます、時に森島先生大先生の御手の中は廣大無邊、狂人と仰せられたがヨモ眞の狂人ではござるまいと存ずるが如何で 半「イヤ手前もさう思ふ事が度々ござるがどうも能く相分りません」と話しをして居る處へ近習の加藤金吾といふ者が來て 金「エヽ森島先生御前からの御使でございますが宮本殿が御在でなら一寸御同道を願ひます 半「大先生の御召しか 金「左様でございます 半「何か存ぜんが宮本氏早速お出でなされたう如何で 武「畏まりました」之から武藏半平の兩人御前へ出る、晝と違つて十兵衛先生の外は一人も居ない 半「エヽ御召しに從がひまして宮本同道いたしましてございます 十「左様か宮本之へ進め、予が少々申聞かせる事がある、コレ〳〵半平其方は暫時遠慮いたせ 半「ハッ 十「心配するには及ばん」と仰しやる處は狂人でない半平畏まつて次の間へ下がる 十「武藏之へ進め、最前其方に見せたる眞劍白刃取りの極意相分つたか 武「ハッ 十「相分つたとあれば其でよい其方は敵を持て居るな 武「エッ大先生には能く御存じ 十「其は相分る而も大敵ぢや、其方も名譽の技倆あるがまだ若い所がある惜しいかな勝負を焦る氣味があるぞ甚だ宜しくない戰ひは最後の勝利ぢや、十兵衛は日本一の名人と自慢いたして居るがまだ隠れたる名人上手は何位ゐあるか知れん決して油斷ならん其方も怠たらず修業いたせ之は其方が遠路を諦ねて參つた志に報ずる十兵衛の寸志ぢや能く熟覧いたせ」取出したのは一卷の書物 十「コレ〳〵見てしまつたら火中いたせ 武「ハッ有難き仕合せ 十「早く納へ、コレ〳〵半平モウ宜いから武藏を伴れて歸れ」と仰しやつて其後は何のお言葉もない、半平宮本を同道して小屋へ立歸りましたが宮本は察するに違はず十兵衛先生の狂人でない、抑も何の書卷であるかと人知れず開いて見れば柳生家に秘する所の妙術、眞劍白刃取り假隠れ假隠れの極意を初めとして劍法の心得總て六十四箇條認ためてございます、さて涙を流して喜こんだ宮本先生、さては某の心中を悟つて門人たりとも傳へん所の秘術を傳へ下し置かれたるが御志の程生涯忘却はいたさんとあつて密に御禮を申上げ後此書は火中いたしてしまひました、森島に暇を告げ厚く禮を述べて大和柾木坂を出立いたしましたが半平の話しに奈良の寶藏院に覺禪坊胤榮といふ槍の名人が居るといふ事であるから之を尋ねて試合をする考がへで宮本は柾木坂を立つて奈良へ乘込んで參りました。

婦人科 産科 二宮醫院 京城壽町四一 醫學士 二宮亮吉 電話一三〇一番

中谷醫院 京城大和町三丁目(不老泉裏川端) 内科 小兒科 電話一〇三三番


五月十日九星 舊四月九日 丁未 本命二黒 坤 滿 赤口


長生の新法 醫師 小森喜代三 小森式塗擦液 ◎定價 十五回分(十五瓦入)金一圓五十錢 三十回分(三十瓦入)金二圓八十錢 送料一地金八錢 大正四年十月五日婦人世界秋季增刊號に村井弦齋先生の實驗談あり 小森式塗擦法 元年十一月十二日發行朝日新聞『大正』紙上に實驗記事其他各新聞雜誌に掲載あり 郵券二錢を送れ説明書無代進呈す 東京市芝區西久保櫻川町十六番地 醫師 小森順生堂藥劑部

女にはらむ日とはらまぬ日あり 姙娠日の前知と分娩日の起算 豚は廿一日目に犬は春秋に姙期ある如く女も必ず姙娠日あらんこ著者は多年實地に研究中の處愈々完成せり是によれば女は一年中姙娠日は僅か六十日にて不姙日は三百六日なり 男女兒の姙娠日も産日も判る故に産婆は勿論産は女の大役故此本を

讀むは一生の徳である 附録には婦人の心得 月經閉止の手當 妊娠の心得 育兒法 子宮一切の病の判る法 産婆の心得 衛生を述べたり 既に此本の外數十種の如き家庭の爲に花の如き愛に皆の如き人多し 一册定價五十五錢送料無料 切手は一割増 引を作れる人は大割引 五回分増にて申込次第密送す 東京京橋新榮町三ノ五 婦人體育會 振替東京二三六八五番

こゑる藥 身體やせて種々療養効なくお困りの方郵券三錢封入申込めば胃腸を健全にして害なく身體肥大となる妙藥の説明書呈 ○東京市麻布區三河臺町 小川藥院

質 開業 完全なる倉庫あり何品にても懇切迅速に取扱申候 明治町二丁目五四(交番所東小路) 片山質舗

質 京城黄金町二丁目(永樂町停留所北入) 堀佐營業所 (電話六三九番)

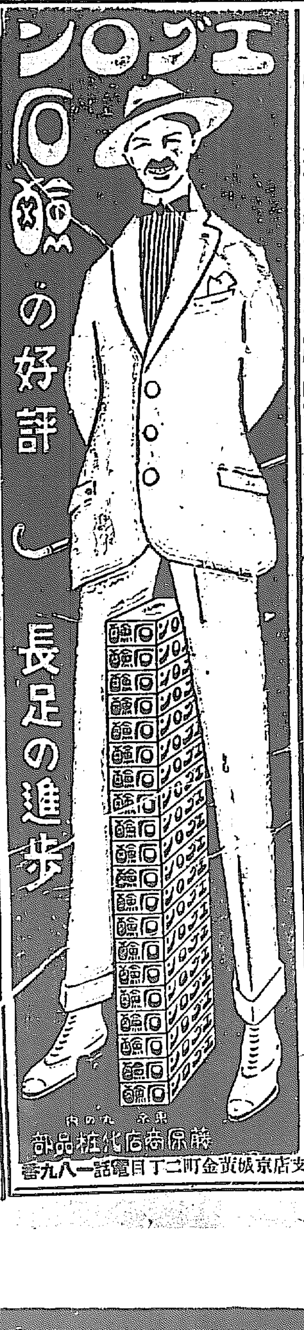
自動車運轉手 は今や内外の需要益々激増し此際に雄飛せんとする士は速に本院に於て迅速教授す 部會に於ては就職收多大也 東京市京橋區南紺屋町 發動機協會

家傳靈藥 ぢの藥 ●痔疾一切●大寃症之●脱肛●痔瘻 ●現状の儘●家傳『靈妙藥有ハガキ』で申込あれば 導療する原理由自宅治療法の書册進呈す 東京京橋區疊町 小松盛林堂 ●御買求の際は小松ぢの藥を指命を乞ふ

東京で一番よく賣れる美人となる ホーカー液

再三宮内省御買上の光榮を辱ふせり

ホーカー液を朝夕の洗面入浴後に御召し遊ばせば
■色を白く、キメを細かにし
■アレを防ぎ、色艶を好くし
■日ヤケ、白粉ヤケを防ぎ
■子供衆の皮膚を丈夫にし
■性來色の白いやうに見え
ます、又
■白粉下、白粉のトキ水によく
■男子方の剃刀後に適し
■香よく香水の代用をする
等全く他に類のない優れた効果をもつて居ます
定價小瓶廿錢、中瓶四十錢、大瓶八十錢 送料内地八錢 滿鮮三十錢 内外到る處の小間物、化粧品店、藥店に販賣す 若し品切の節は直接本舗へ御注文又は切手代用にて御注文を乞ふ
東京和泉橋 本舗 堀越嘉太郎商店 振替東京二四一一八番

七日ツケタラ鏡をごらん色白くなるゲンソ液 小瓶二十錢 德用四十錢
今東京で大評判の白美の元素色黒き顏赤き顏日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに根本的色白く眞の美人、美男子となる 全國の藥店小間物化粧品店に販賣す近所に品切の時は代金丈の郵便切手を送れば送品す 東京和泉橋際ゲンソ液本舗 松本藥店

學者の創製したる新化粧液 美顏ユーマー ……を愛用せる…… 某若夫人の面白き評!!

最初廣告に促されて、從來使用せる化粧液と混用せしが、素人の自分には化學的に於ける優秀は知る由なきも、何こなく美顏ユーマーに親しむの傾きを生じ、遂には魅殺せられ、現今に於ては專ら美顏ユーマーを用ひ居れるが、第一使用後快感を覺ゆるは嬉し云々。

(附言) 何こなく親しむこ若夫人の言はれた所が味ふべきで、即ち知らず識らずの間に學術的完全品の優秀な事がお判りになつたのです。美顏ユーマーが一番進んだ化粧液こして世の御信用を得ましたのも全く此故ですから、茲に此御批評を掲げましたのです。

美顏ユーマーをお使ひになれば ■色を白く■クッキリこ垢ヌケして■キメ細にツヤを美くし■アレ止めにも此上なく■白粉下や白粉のトキ水に使へば、白粉に美しきツヤを添へ、ホントウに綺麗なお化粧ができます。(定價 一瓶 十八錢)

2576.58

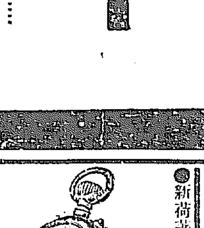
クスリはホシ ホシサヨリン 外國藥四十餘種 各地藥店にあり 感冒、痔、胎毒、淋病、疳、頭痛、耳鳴 定價廿錢 卅五錢 五十五錢 一圓

内科 小兒科 芙蓉醫院 京城本町二丁目(瓦斯會社前側) 醫學士 森定吉 電話二六三番


淺松太郎氏息 安二儀 病氣の處養生不相叶本日午後一時三十分死去致候間此段知己諸君に御知申上候 追て葬儀は明九日午後五時自宅出棺東本願寺に於て執行仕候 大正五年五月八日

親戚總代 松田耕作 荒井初太郎 天日常次郎

友人總代 飯田茂雄 奥田貞次郎 内海淑郎

●新荷著アンクル式片側懐中時計● 側構堅牢示針正確體面優美然も實用的にして價格の低廉なる天下無比

十九形 … 十八形 … 二十形 … [illegible]

右は今回新着の商品にて本商會に限り店に無き所のもの伏して願はくは御選擇の御注文に對しては印度郵便にて御送附申上候 小包郵便にて御送附申上候 時計、蓄音器、ミシン機、自轉車、洋酒、各國貨直輸入商

本店 京城本町二丁目 イングレッシー商會 電話九七二番

專賣店 京城本町二丁目 前田酒店

登錄商標 瓢水味淋 堺 嶋彦釀

ダリヤ 實費分讓 目錄無代進呈 京城西大門外竹添町三丁目 東京千草園分園


汽車 [illegible]

# 京城日報

第三版

大阪三品　大阪期米　仁川米豆取引所

九日朝刊（夕刊と合せて八頁）

發行兼編輯人 奧田直毅　印刷人 小川三之介　發行所 合資會社京城日報社 京城太平通一丁目


## 京城日報

### 鐵道委員を送る

日支、東滿、京奉鐵道聯絡會議は五月一日より京城に開かれ、支那國有鐵道、東清鐵道、帝國鐵道院、南滿洲鐵道並に朝鮮鐵道を代表せる委員は連日會議して、東洋の一角に於ける一大國際鐵道系の聯絡輸送に關する重要問題を攻究討議せるが、去る四日を以て議事を終了し、議定書を整理して今九日を以て之が調印を行ひ此日を以て國際鐵道會議は茲に芽出度く閉會を告げむとす。

此會議に參加せる各鐵道は、其々一國或は一地方の有力なる交通機關たること改めて言ふ迄もなし。然かも各自相聯關せる地位に居るが故に此關係地位を最も有効に利用する事によりて、其の交通機關たるの價値は、初て遺憾なく發揮せらるゝものと謂はざる可らず。既に相互に聯絡の形式と實質とを[illegible]的に一大系統を成せるが[illegible]國際的關係に於ては、直[illegible]聯絡輸送に就ての人爲的障碍を撤去し、輸送物件の國際的移動を、何等の不便なく、不自由なく、相互に水の低きに就くが如く、其間些の澁滯なからしむるを理想とすべし。

此度の會議に於て、何れも聯絡運輸事業の發展改善に資すべき重要なる議案の決議せられしもの、十五件を數へ、中には日支直通貨物運輸の便法等の如き殊に重要なる案件が、解決の歩を實行案の研究にまで進め來りしが如き、洵に彼我の爲め好都合なりと謂はざる可らず。斯くの如き好結果を見るに至れるは、實に此會議に於て、相互委員間の意思疏通し、正しき了解の下に熱誠と寛量とを以て相協定せられたるに因らずんばあらず。思ふに日露日支の關係が今後益々親善を加ふるに從うて、國際鐵道間の聯絡價値は愈々增大し來るべく、今回の會議の如きは、洵に時宜に適したるものと謂ふべく、國際間の重要問題は直ちに協定し難きものあるべしと雖も、苟くも互に了解せば、解決は單に時期の問題たらんのみ。茲に今回の好結果を欣ぶと同時に、明年四月東京に開かるべき次回の會議に對しては、吾人は更により多くの効果を期待し、確信せんと欲す。

歐亞交通の要衝たる京城に於て、重要なる鐵道會議の開催を光榮とし且つ委員諸君が勞を謝し、諸君が會期終りて此地を去らむとするに臨み衷心の敬意を以て其行を送る。此場合に於て吾人の愉快禁じ能はざるは朝鮮の誇にして世界の奇勝たる金剛山が、諸君によりて最も有効に世界に紹介せらるゝの機會を得たることなり。否諸君により紹介せらるゝもの、豈當に一金剛とのみ謂はむや。

### 鐵道會議に於ける挨拶並に謝辭

鐵道連絡會議は四日を以て總べての問題を議了したるを以て當日大屋朝鮮鐵道局長官は議長として閉會の辭を述べたるが其の大要左の如し

本會議に附せられたる問題の討議其終を告ぐるに當り開會中諸君が熱心と忠實とを以て能く其の職責を盡されたるは本議長の感謝措く能はざるところなり斯く會議が圓滿に進行し實際上の成功を告ぐるを得たるは偏に委員諸君の熱誠と寛量とに歸せざるべからず議案の決議せられたるもの十五何れも聯絡運輸事業の開發の爲めに現行施設の改善に資すべきものなり

斯く會議を重ぬる毎に兩國鐵道關係者は益々其の親密を加へ相互の意思を了解し以て直通運輸施設の効果を增進すべき重要なる諸問題の解決に資することを得ん希くば諸君の京城に於ける滯在が歡喜に滿ち愉快に歸任の途に就かれんことを祈り且つ明年次回會議に於て諸君と共に一堂に會せんことを望む

之に對し支那國有鐵道委員フォーレー氏は左の答辭を述べたり

我が尊敬する議長の閉會の辭に對し答辭を述ぶるに當り恐くは本員が何等の言辭を以てするも斯かる重要なる場合に當り充分其意を表すこと能はざるべし

大屋氏は議事の圓滿なる進行に付き最も懇勤なる辭を述べられたるが本會議を斯く滿足に結了し得たるは一に本會議の議長として各委員が採るべき進路を示し終始援助誘導せられたる結果に外ならず之れ既に委員諸君の同意せらるゝところなるべく諸君と共に本員の最も欣喜とするところなり

茲に鐵道院朝鮮及び南滿洲鐵道の知友諸君と再び相見ゆるの榮を得たるは本員の同僚並に本員自身に取り愉快禁ずる能はざるところにして將來開催せらるべき數次の會議に於ても亦た同一の歡喜を重ねんことを期す

議長は又會議が其數を重ぬるに從ひ相互に益々意思の疏通を見るべきことを述べられたるが本員も亦た全く同意見なり惟ふに社交上に於ける將た又政治上に於ける各種の問題が誤解に依りて障礙と困難とを來すこと尠からず若し社會上の諸般の會議が今回の會議の如く融和し而して吾人の推載せる如き議長を有するに於ては其の間何等の誤解を生ずることなく社會は益々改善せられ世人の受くる幸福大なるべし

終に臨み尚ほ一言したきは朝鮮の首都たる此の地に於て本員の同僚並に本員自身が恐らく他の委員諸君に優りたる愉快なる滯在を樂しみたることなり又た今回吾等各委員が寛量にして熱誠なる配慮を蒙り至らざるなき優遇歡待を受けたるに對し感謝措く能はざるところにして永く之を忘却せざるべし大屋氏並に諸君本員は諸君の貴重なる時間を尊重し茲に此の數語を以て答辭となす

## 聯絡會議畢りて　代表委員の感想

### ▲可驚朝鮮の發達
東清鐵道本社商業部長　ゲーシトル氏談

▽健美に不堪　予は三年以前一度朝鮮を訪ひし事あり今回を以て二度目の訪問と爲すが朝鮮に來ての感想は短い年限に總ての方面に於ての設備完成し開發の實擧り殊に鐵道は到處縱横に敷設され加之輕便鐵道も多々ある樣に見受けられ先日は水原の模範場を觀覽したが其他にも幾多模範場支場がある模樣だし農業に林業に非常な發達を示して居る又た教育は朝鮮人が内地人[illegible]にされてゐる許りでなく内地人[illegible]がよく朝鮮人を愛撫して遣つて[illegible]は非常に羨ましい次第で將來に於ては益々融合の美果を生ずる事と信ずる、と言ふのは殊に予が波蘭人である爲めに一層痛切に觀察される譯であるが露西亞の波蘭に對する教育方針乃至露國民の波蘭人に對する態度の如き到底朝鮮の如き比でなく實に羨ましくてならぬ

▽日露親善の實　歐洲大戰以來日露親善の聲高まり其れと共に事實上の親善を頻りに各方面に於て實現されてゐる所だが更に日露貿易の將來に於ける發展も正に疑ひなき處である幸に予は露日協會に關係して日露兩國文の雜誌發行に與つてゐる爲めに日露間の經濟關係に就ては多少知る所もある積りだが現在に於て日露兩國間には物資の交換頗る殷賑を極めてゐる露國とすれば現在に於て極東方面より得るにあらざれば絕對に他國よりの物資の供給を受くる途が無いし日本にしても露國への物資輸出は正に利益であるに違ひ無い是れ双方の利益である事だから今後益々近親の度を加へて行かねばならぬ理窟である然して啻に戰時のみならず戰後に於ても此現象は永續して行くべきものと思ふ而して此事は吾々運輸交通の事に當つてゐる者が力を注いで奬勵しないでも國民自身が日本との接近を希望し努力しつゝある事だから商業的關係も自然に密接して行く事は信じて疑はない處である

### ▲日支親善と鐵道
支那國有鐵道商業部長　フォーレー氏談

▽今昔の感　予は千九百一年に釜山を一瞥した事があつたが當時言ふにも足りぬ程の一漁村たりし釜山が今日は大都會となり設備を施されて居れるを見て唯驚く許りである釜山に於ける海陸運輸の設備のみならず交通機關の完備は此以上に如何に改善すればいゝか分らない程である

▽道は國交を通ず　日支兩國は素より互に親密を計る必要があるけれども一時に總てを爲す事は出來ない一歩々々着々として進んで行くべきもので此度の連絡會議にしても日支親善の一手段として兩國の親密を計る機會に成る事と信ずる例へば朝鮮鐵道の連絡なかりし時代に於ては大抵の支那人も大連迄は知つてゐたけれど朝鮮、日本を知らない者は澤山あつた然るに朝鮮鐵道が出來てから支那と朝鮮、日本との間が近接して互に諒解する處も多く且早く朝鮮鐵道の連絡機關たる意義を大に認むる樣に成つた予は今朝鮮の鐵道に就て批評的意見を語る事を欲しない又其樣な事を若し予が懷抱してゐるとすれば予は大屋博士に向つて直接述べるであらう又大屋博士にしても北京に來るの機會があつて其樣な機會があつたとすれば必ず予に直接語られるであらうと信ずる何故予が其樣な事を言ふかと言へば吾々の關係は其れ程に近接し昵懇になつてゐると云ふ證據を示したいと思つたからである

▽友情を謝す　今度の會議にしても日支兩國側共好感を以て終了したと思ふ之れ單に總督閣下を始めとし大屋博士其他總ての鐵道吏員の懇篤な友情と親切とに對し深甚な感を有した事を特に表白して置き度い朝鮮と云ふものに對する感じは總てに亙り非常に素朴な處と到る處山の多い事で仲々價値のある處だと思ふ而して旅行者の來て見て必ず滿足すべき處だと思ふ何處をも見ないで唯京城及び其附近を見た丈けでも直に滿足を買ひ得るに充分だと思ふ

### △此完全なる道路！
支那交通部籌理國際聯絡鐵路事宜特派員　陳國華氏談

朝鮮は併合以來非常な短時日の間に他各般の施設改善に努力した結果として各方面立派な成績を示すに至つた其内でも殊に到る處立派な道路のあるのは全く驚く許りである予の朝鮮に對する感想は右の如きものである

### ▲世界の公道　朝鮮鐵道の地位
木下運輸局長談

▽日支鐵道の關係　抑も東滿鐵道の位置たるや大西北利亞鐵道五千哩の東端を占據し同時に烏蘇里鐵道の終端を占據し歐洲西北利亞系統の樞要に於ける鎖鑰を握るの位置にある今回來鮮中の委員は其代表者たる支那國有鐵道、北部中部に於ける主要幹線の代表者で之が滿鮮を經て太平洋方面との連絡を執らんとの目的を有してゐる譯である

日本は太平洋に於ける文明の中心であるが又同時に交通の中心たらしむる事が海陸交通業者の責務である即ち日本の國有鐵道は北は西北利亞鐵道より歐洲に通じ南は支那國有鐵道を經由して支那大陸に通じ歐洲及び支那大陸と深く結び度いと云ふ希望があるのである東清及び支那鐵道は太平洋に出たいと熱望し日本の鐵道は深く大陸に侵入したいと切望し茲に相連絡せんとの會議が生れた譯である朝鮮鐵道は孰れの方面から見ても其中心地である

▽京城に開催の所以　現に今もさうであるが朝鮮鐵道は將來に於て益々世界の交通路として必要な公道と成るの運命を有してゐる各地に於て例へば露都、北京、東京の如きに於て今迄開かれて來た連絡會議が今回京城に於て開かれた事は又大に故ある事と言はねばならぬ

### 帝都より
高賀生

編輯局諸賢。崖城森安博士の一喝を浴びて、蒼惶漢城の天地を逃れ出で、二百日の奔命に困憊せる身を故山に養ふこと二旬、略「神經衰弱」を驅逐し去つて帝都に入れば、櫻花既に遲し。

▽國民新聞社編輯局樓上、蘇峰先生の盛容に接し、其王國の一隅に踞して別個の氣風氣を呼吸す。一味清爽の氣、襲ひ來つて蘇生の感無くんばあらず。

▽春光滿城、日比谷の蹴毬、龜井戸の藤、騷人の杖を曳くもの多しと聞けど、目下の余にとりては、這個編輯局裡、事務に忙殺せられつゝある諸氏の眉間を來往する或者に春風駘蕩の氣を察するに急なるのみなるを奈何。

▽昨、午後、總督府出張所に大城戸書記官を訪ふ座に、秋山博士あり、荻田總務課長あり、佐竹男爵あり、遠藤秘書官あり、更に素空總監の時々口籠を運ばるゝを加へて、室に出張所の名に背かず。大城戸書記官感れて曰く「朝鮮からのお客は秋の議會前に來るのがほんとうのお客で、出張所へ顏を見せるが、春來るのは、花にばかり顏を見せて、出張所などへは寄りつかぬ」と。

▽素空總監は、隔日、小田原に、父君公爵を病床に省せられ、此五六日の候、歸鮮の途に就かるゝやに聞く。朝鮮よりの赤十字社總會參列の諸員、明日を以て入京せんとす。（三日正午、國民新聞編輯局樓上にて）

### 故杉山先生弔詩

故孤峰杉山孝敏氏は客月中東京に長逝したるが滯鮮中公務の餘暇綠泉亭に於て周易其他の講演を乞ひ師事したる總督始め二三子は哀悼の情禁じ難き者あり頃日左の輓詩を賦し遙かに幽魂を吊したりと云ふ

寺內總督輓詩

時說變遷涉古今。又稀周易察天心。溫容恍惚猶如在。堪聽孤峰松籟音。

恭次魯庵大將閣下瑤韻弔杉山先生易簀　霞南 小松 綠

琴鶴仙容昨若今。落花流水轉傷心。幽魂來我近何處。時聽天涯裂帛音。

同上　黑田甲子郎

折柳送君昨若今。忽歌蒿里奈傷心。聖賢古道向誰討。愁殺莫春酸雨音。

### 京日詩壇

○折梅寄人　高橋 空齋

春催樹上數花開。獨嗅暗香閑酌杯。折寄一枝聽有句。月前微笑待儂回。

評曰。筆々幽秀、風韻撲人、

○同上　古城 梅溪

疎懶頗無宋廣辭、一枝春色寄相思。冰魂玉骨高風在。請子爲傳何遜詩。

評曰。含思不淺。

○同上　高井 椿堂

亂風吹暖自東來。鶯語先爲消息魁。腹堪詩春色早。一枝好贈後庭梅。

評曰。平安。

芳香氣韻可無詩、鐵骨冰魂倚竹籬、請看逆若花一朶。凛然破臘傲春姿。

評曰。句句奇嬌

○同上　永井 烏石

芳魂不願俗人知。離落懷春欲嫁誰、勸破玉頰情脈脈。煩佳驛使待吟帷。

評曰。綺情藻思、何艶、何清、


蘇峰 德富猪一郎著　定價金貳圓 郵稅十二錢

# 大正政局史論

菊版四百卅頁 總クロース

大正政局變轉推移の遠因近因政黨分合消長の千波萬波其間に活動したる幾多政治家の一進一退微に入り細を穿ちて殺活縱横一世の耳目を壓倒す洵に是れ政局史論中の白眉也巨擘也

大阪賣所
京城日報社代理部
京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番

絕對也

實用旅票自轉車

スヰートホーム號

絕對保證

スヰートホーム號は價格の低廉に於て絕對也
スヰートホーム號は機械の堅牢に於て絕對也
スヰートホーム號は廻轉の輕快に於て絕對也
スヰートホーム號は裝置の巧緻に於て絕對也
以上の絕對的理由を以て弊商會は諸君に同車を推薦する事絕對也

京城本町一丁目三九
大澤商會京城支店
電話四〇八番 振替口座京城一九三九番

會員募集

# 速成文章講義錄

講義は親切、小學程度の人にも了解す　文學雜誌進呈　奬學資金提供
六ヶ月卒業　男子部女子部あり　內容見本付規則書申込次第進呈
帝國文章學會 東京神田錦町三丁目

風味何人も愉快と呼ぶ
芳醇何人もウマイと喜ぶ

空前の景品附賣出

サクラビール

景品總額金七千數百圓

■景品附賣出は愛飲家本位に考案してありますから
■壹本宛最寄賣店で御買求めになつても
■景品券が貰らへる樣になつてありますから
■御家庭用は勿論御進物用には最も興味あるものと信じます
■多少に不拘御引立御用命の程願上ます

神戶 合名會社 鈴木商店京城出張所
京城南大門通二丁目（電話二九二四番）

## ○總統退職議決準備

民意機關を急設=正式國會開設

南方は袁總統の退職を迫り北方は總統の退職は國家の騷亂を甚しくするものなりとし愛國心に訴へて留任を主張し相讓らざりしも段內閣は遂に南方に有利なる方法に據り推選したる代表者を以て段の民意機關を急設し袁總統の退職問題に就き議決を爲すべく準備中なり此の先決問題解決後追つて約法に據り正式國會開設に至るべしと但し此方法が南方の同意を得るや否やは疑問也(北京特電)

## ○兩將軍の動亂警戒

黑龍江省鎭靜=吉林將軍の狼狽

畢桂芳は黑龍江省將軍に新任し同將軍は四日袁總統に謁見不日出發の筈也而して黑龍江省の獨立動亂は一時鎭靜せり之れより先き同省動亂の報吉林に達するや猛將軍は非常に狼狽し戒嚴令を布きて省城及び各縣の動搖を警戒せり吉林は先年の凶作經濟界不振の爲め各地に動亂起り又馬賊橫行の際此報至りたれば當局の心痛はさもあるべし又張奉天將軍も桓仁縣騷動の結果奉天省の動搖を大に怖れ六日沈痛なる諭告を出して戒嚴に努め電信郵便の檢閱を嚴にし極力時局の保安を圖り居れり(奉天特電)

## ○陸軍次長任命

田龍佐は陸軍次長に任命さる田は段祺瑞の股肱にして今回段出でゝより秘書を爲し居りし者なり(北京特電)

## ○法政局長任命

林長民は新內閣の法制局長に任命され其他の局長にも更迭ありたり(北京特電)

## ○小松原氏視察

六日大連に來著せる東洋協會々長小松原英太郎氏は七日市中を見物し午後は旅順に赴き八日は同地に滯在し戰跡其他を視察し九日大連に歸り十一日東洋協會大連支部大會に臨席して十二日大連發青島に向ふ筈(大連特電)

## ○大園監理局長

大園鐵道院監理局長は七日大連著八日午後大和ホテルに於ける大連商業會議所主催の三線聯絡運賃問題に關する談話を爲したり當日滿鐵理事綿布貿易商等出席氏は五六日間滯在し調査研究を爲す筈なり(大連特電)

## ○ヴ將軍麾下の逆襲

エルパソ來電に據ればヴイラ將軍麾下の匪徒は六日夜グンシ、スプリングスを逆襲し十餘名より成る米國守備隊中の四名及び小兒一名を即死せしめ尙數名の兵士を負傷せしめて逃走せり(紐育電報)

## ○露軍前進敵軍退却

イルクストの東南より其の端に至る塹壕中獨軍はクツンの西方の部分を占領したるも露軍最近の猛烈なる砲擊は獨軍をして西北方の丘陵に其の防備を集中するの止むなきに至らしめたり敵軍の此の退却は露軍がロニエルゲ鐵道地方に於て前進しイルクスト附近の敵軍右翼及び後方を威嚇したるに依る(露都電報)

## ○製鐵業調査會

第一回製鐵業調査會は八日午前九時農商務省會議室に於て開會河野會長各委員出席會長より一場の訓示演說ありて正午午餐を共にし午後一時再開左の諮問事項を審議し三時散會せり(東京特電)

(一)製鐵原料の調査研究に關する事項
(二)製鐵業の種類調査に關する事項
(三)官民製鐵業の調和に關する事項
(四)製鐵業の發達を促すに必要なる事項

## ○守衛長奏任 裁判所評定官增員公布

貴衆兩院守衛長を奏任官に昇格すべき件は八日法律を以て公布され又行政裁判所評定官十一人を十二人に增員の件も同日勅令を以て公布即日施行せらる(東京特電)

## ○知事身許嚴査

桓仁縣王知事の聚斂に吃驚し同縣の商務會[illegible]十五萬元の募集方を命じ來り支那阿付縣にては鮮國人の鑛山業に[illegible]之れに傚ふて東省の大變を來さん事[illegible]りしも何分其募集期間短き爲め意の如[illegible]從事せるもの多きより農工部に[illegible]
[illegible]東[illegible]醫生李欽俊(四八)は一人は同月二十六日遂に死亡するに至[illegible]より九月迄に三千[illegible]百四十六圓餘を[illegible]

## ○堀少佐陞敘

六日軍艦伊吹に於て不慮の慘死を遂げたる同艦水雷長堀海軍少佐に對し八日左の如く特旨敘位の御沙汰ありたり(東京特電)

海軍少佐從六位勳四等功五級 堀當
敘正六位(特旨)

## ○兩少將全州著

井出經理部長は七日白井旅團長は八日全州に著平野屋に投宿官民の歡迎會に臨めり(全州特電)

## ○哈市と我商權

最近哈爾賓を視察し歸來せる者の談に據れば近來同方面に於ける日本人の發展著るしきものあり數年前は僅に三井其他の貿易商と例の特種業者の外見るべきものなかりしに昨今は總員一千五百餘名に達し和洋雜貨及び食料品の販賣に從事しつゝあり是れ甚だ喜ぶべき現象なるも哈市の邦人商業も他の各地に於けると同樣の共喰の範圍を出づる能はず其の狀況は歐洲戰に伴ふ壯丁の出征及び東清鐵道從事員の減少等に[illegible]業の不況に陷り加ふるに露貨の[illegible]落[illegible]りて一層打擊を受け露貨[illegible]は延いて黑龍江官帖の下落となり支那人との取引澁滯勝なるも此間却つて邦商の活躍し得べき餘地あり然るに邦人の狀態前記の如くなるは遺憾に堪へず今哈市に向つて我商權を擴張せんと欲せば商習慣を知ること勿論なるも之と共に外國品に對抗し得べき價格にて商品を提供し且容易に相場の變動せざるやう製造者に於て特に定相場の維持を圖るを必要とす露國人は元來數字に迂きを以て日本商品の如く餘りに相場の變動するものは自然之を忌避する傾きあり斯くては我商權を擴張せんとするも能はず是れ相場維持の必要なる所以なり猶ほ稅關の稅率を引下げしめて廣く商品の輸入に便する事、金融機關を設けて貸付を充分にする事等も亦必要なる手段なりと云へり(大連)

## ◉滿鐵の植樹

關東州內に於ける都督府の植林と相俟ち滿鐵會社にては沿線各附屬地の驛構內、道路、公園、社宅附近等に植樹を行ひ來れるが本年より山地、公園豫定地、其他苟くも植樹し得べき處には總て植樹をなすに決し例へば安東縣の鎭江山公園附近長春郊外の公園豫定地、奉天の表忠塔附近廣場、大石橋の蟠龍山、蓋平附屬地の山地、熊岳城以南の山地一帶等には其大規模の植樹をなす筈にて既に其の一部は著手され今後十箇年の間に大體完了せしむる事となり居れり撫順炭坑地の造林は昨年より行はれ槐、胡藤、白楊樹等を栽植せるが本年も引續き百萬本の植樹をなす筈なり猶ほ各苗圃にては在來の楡、胡藤、白楊、普通松、ネクンド、カエデの外寒地に適する總ての樹種を栽培し漸次その普及を圖るべく樹種の選擇及び試植に努め旁ら之が栽植法をも研究し居れり(大連)

## ◉古海總長檢閱

古海警務總長は永谷坂東兩課長山形大佐、大橋少佐を隨へ八日龍山憲兵練習所憲兵敎習所等を檢閱せり

## ◉全南の竹林經營

全羅南道潭陽郡津江沿岸河東邑を中心とし東拓にて經營せる竹林の栽植極めて好成績なる爲め同地附近の農民中同社の竹林栽培手入れに倣ひ企業する者多く大小の經營各地に現れつゝありと

## ◉製煙輸移出高

三月中に於ける鮮內製造煙草の輸移出高は口付紙卷煙草二百九十九萬四千本、兩切紙卷煙草二千五百七十六萬九千本、價格總計四萬三千四百六十四圓餘にして、一月以降の累計は口付紙卷煙草一千八十五萬五千本、兩切紙卷煙草四千六百九萬五千本、刻煙草十八貫、此總價額十二萬八千十六圓を算せるも之を前年同期間の輸移出價格と比較せば二萬六千二百四十三圓の減退を見たり、當月並に一月以降累計の輸移出額を輸移出地別に示せば左の如し

輸移出先地別內譯

| 地名 | 三月 | 一月以降累計 |
| --- | --- | --- |
| 安東縣 | 一八、〇七五圓 | 三一、五一五圓 |
| 開原 | 八〇 | 五八五 |
| 四平街 | 二七 | 一九五 |
| [illegible] | 七五 | 五七五 |
| 鐵嶺 | ― | 一八七 |
| 撫順 | 六八八 | 一、三四〇 |
| 奉天 | ― | 一五〇 |
| 大連 | 八、一九四 | 二七、六五五 |
| 青島 | 二、三五〇 | 二〇、八九七 |
| 上海 | 一一三 | 一九一 |
| 間島 | 三、五〇〇 | 六、〇〇〇 |
| 琿春 | 一、四六〇 | 二、五六〇 |
| 其他 | 三 | 三 |

輸移出者別價格內譯

| 輸移出者名 | 三月 | 一月以降累計 |
| --- | --- | --- |
| 東亞煙草 | 二〇、八三八圓 | 四一、〇八八圓 |
| 廣江商會 | 二〇、〇七四 | 四〇、八六六 |
| 朝鮮煙草 | 九一五 | 二、〇九八 |
| 釜山煙草 | 一、二三八 | 七、三六一 |
| 野方商會 | 四〇〇 | 四〇〇 |

## ◉朝鮮內地間電信

朝鮮と內地各都市間に於ける電報發著狀況に關し當局に於て最近一日間の調査の結果を聞くに商取引關係は最も密なる大阪を最とし左の如き順位と通數を示せりと

大阪九七六、東京五三〇、山口三三二、兵庫二四八、福岡二三九、長崎二〇一、廣島一一九

## ◉校舍新築問題

京城學校組合は大正六年の新學期に於て就學する新入學生を收容す可き校舍に充てん爲め本年十月頃迄に一小學校の新築費四萬數千圓を追加豫算により行はんとする件は既記の如くなるが京城府は目下其小學校の候補敷地として二三官有地を指定し其筋へ拂下げの交涉中の由なるが其認可を得たる上は直ちに設計に著手し著々建築の運びに至る筈なりと

## ◉濟生院兒派遣

濟生院農場にては養成し來れる院兒中相當年齡に達せるものは之れを地方の篤農家に依托農業に從事せしめ將來獨立の農夫たらしむる方針にて昨年も一名の院兒を派出したるが其成績極めて良好なりしより本年は更に六名を派遣する事に決し既に忠南(二名)、慶北、江原(各一名)、咸北(二名)の篤農家に向け夫々派遣したるが之等の院兒は相當農業上の智識を有し素行方正なるのみならず國語にも通じ居れるを以て雇傭者側にも多大の便あり頗る歡迎されつゝありと

## ◉鐵道委員招待

東清、京奉、鐵道院、滿鮮、鮮鐵各線連絡會議の爲め入京中なる各委員に對し八日午後七時より朝鮮銀行は一行を千代本に招待し晩餐會を催したり

## □理想の蠶業地とし度い

柳忠北道長官談

(去月二十一日より五月一日迄十一日間を費して忠北十郡部の巡閱を終へて歸任したる柳忠北道長官は往訪の記者に向つて今後の方針に就いて語る)

○今回初めて管內巡閱をしたので現狀を見たと云ふに過ぎぬから未だ確たる方針を樹立ることも出來ないが四方山を以て圍まれた忠北は表に於て示す通り全面積の九割は山野である故どうしても住民の富は山に依らねばなりませぬ其れで前長官も三十箇年計畫で植林事業を起された結果著成功の域に進みつゝある有樣を見ては甚だ愉快に感じます又一面巡閱の途上沿道の部落を見ますにどんな寒村でも必ず家の周圍には幾株かのポプラ、ニセアカシヤを植ゑられて居りますが桑苗の植ゑられて居るのは極少しづゝしか有りません そして是等の桑苗は皆植付けた儘で放置せられるため發育宜しからず殆んど用をなすものは有りませぬ私は此點を見て甚だ遺憾に思ひました燃料を稼んためにならばポプラアカシヤを無理に肥沃な宅地附近に植付けないでも前にも言うた通り有り餘る廣漠たる山野がありますから是に換ふるに桑苗を以てし小量づゝでも各戶必ず養蠶を勵行せしめたならば從來室內にのみ蟄居して何等生產的の業務に服しない婦女に相應の職を授くると共に比較的多くの收益を得られることゝなります ○私は先年內地に學を修めて居りました時長野縣に於て親しく蠶業の狀況を目擊して其の旺盛なのに驚嘆いたしましたが今回忠北に參りまして以來特に今回北部各郡を巡閱して感じましたのは海の幸を得られない點山岳に富みて耕地の狹少な點に於て長野縣と忠北は殆んど共通して居ます敢て彼れの例を取る譯ではありませんが現在全國第一の蠶業地として年產額四千萬圓以上を有する彼の地住民の富の程度は他の各縣に於ては見られぬ程富裕です ○故に我忠北に於ても今後は從來にても極力獎勵せられつゝ有りました養蠶を依るを最捷徑と思ひます故今一層獎勵して本道をば理想の蠶業地とし度い積です就ては南部の各郡も巡閱しました後具體的に研究して是非實行することに致す希望です云々(支局記者)

## ◉國分長官歸任

司法官會議の爲め東上中なりし司法部長官國分三亥氏は八日午後九時南大門驛著列車にて歸任したるが停車場には總督府及び司法部官吏の重なるもの其他辯護士等の出迎ひありたり

## ◉工傳展覽會

總督府工業傳習所は恒例により來る二十八日午前九時より春季製作品展覽會を開會するが其前日例に依り寺內總督の臨場を仰ぎ製作品の一覽を請ふ豫定なりと

## ◉不二興業配當

京城太平町不二興業會社は四月末大阪にて定時株主總會を開き當期決算案を附議無事終了したるが利益配當は年六分の割なりと

## 財界だより

大阪支局にて 青霞生

○久原鑛業會社の今期業績優良其の收益は既報の如き巨額に達すといふ、今後十年を經過すれば久原家の資產は三菱を凌駕すべしと評判さる程素晴らしい勢なり
○同社は今回朝鮮咸鏡南道甲山郡鑛山を米國人コールブラウン氏より三百萬圓にて買收の契約成立其代金は卽金にて百五十萬圓を支拂ひ殘額は今後銅の產出量に從ひ二三回に分割して支拂ふ由、右銅山より採掘する鑛石は鎭南浦精煉所に回送する事なく今秋竣成すべき佐賀關精煉所に輸送し精煉すといふ
○大阪商船會社は同社現在の臺灣航路南洋航路孟買航路等に連關して支那沿岸航路の今後大に力を用ゐんとする意あり此計畫の實行につきては同社上海支店を再興すべしとの內議ありて同社遠洋課主任窪川氏の實地調査のため五日上海に向へり
○莫大小界は昨年六月以降突如として景氣回復の緒につき爾來非常の勢ひを以て輸出增加し、殊に英國方面の婦人著用としての注文は獨逸代用品として豫想外の額に達し實に斯界に上製品は未だ獨逸製に對して遜色あれど中等品以下の製品は到る處に好評を博したるため最近英國の大商人來阪して目下其々仕入の商議中なり右注文成立せば明年一杯位の製造能力に比適する額に達すべしと、莫大小界の多事は結構
○日獨戰勳下賜一時金は郵便貯金として下賜されつゝあり、通帳には評價されたる公債價格も差額金を記入せるのみにて下賜公債の利子百圓に約一圓五十八錢は記入せられざるを當込み近來不當の利を得んとする狡猾なる金融業者簇生せり注意が必要

◉愛婦人會へ謝狀 過般仁川に入港せる機關練習艦笠置の乘組員が京城見學の爲め入京せるに際し愛國婦人會朝鮮本部は慰問歡迎の勞を取りたるが之に對し此程同艦長より山縣本部長宛鄭重なる謝狀を送り來りたりと

## 人事消息

▲白水參謀長 上京中の處九日午前八時四十分龍山著の豫定
▲國分三亥氏(司法部長官) 八日夜歸任
▲韓相龍氏(漢城銀行專務) 同上
▲道路救護班上野博士一行 八日夜入京巴城館へ
▲岡手耐氏(鎭南浦稅關長) 八日夜入京不知火旅館へ

## ■南吉北語■

米國の對獨潛航艇問題も却々一時は鼻息が強くて國交危險と迄云つて居たが▲米國は獨逸の回答に滿足して最早潛航艇問題は之れで打ち切る相な▲何の樣な回答があつたのか不幸其れを知らぬから何とも云へぬが何となく何時もながら龍頭蛇尾の觀がある▲イヤ龍頭蛇尾の感があるとは云へ米國が最う潛航艇問題を口にせねば獨逸は大喜びで荒し廻るに相違ない▲此奴は大變だ是非幾遍でも可いよしや蚯蚓でもお玉杓子でも可いからウンと文句を申込んで貰ひたいね▲彼の樣なものを手放しては狂犬を市中に追つ放した樣なものだ▲或る人の話によると後藤男は此頃切りに英國首相アスキス氏を賞めちぎつてピツト以來の大政治家だと云つて居る相な▲今度はルーズベルトを止めて和製アスキス氏をキメ込む積りだらうが彼れが惡い▲大倉男の女婿に大倉發身と云ふ文學士がある▲身の丈け五尺に足らぬ小男だが吹きさ加減と來ては先づ天下一との評判▲此の程某實業家が「露國から幾程注文がありました」と問うて▲發身君得意の頸を逆に撫でゝ▲さうさね餘り大した事もないが一寸三四億圓だらう▲には開いた口が塞がらなかつた相な▲風呂敷も之れ位大きく擴げると寧ろ愛嬌になつて好い▲ボロでさへなければ大抵のものは包めるからナア


## 縣下の青年諸君

活社會に立ちて勝利者たらんとする我が縣下の有爲なる青年諸君よ、諸君は必ずや中等教育の素養なかるべからず而して是を完全に具ふべく大日本國民中學會に入會せよ、同會は一代の國士尾崎行雄氏の會長にして會務を督する所にかゝり、講義の正則完全にして且つ懇切平易なるは勿論青年身を托すべき眞個の教育機關たり。頃者中學講義錄又は之れに似たるもの、出版漸く烈しからんとするもの皆是れ同會のなす所を倣ふものゝみ。諸君乞ふ就いて學ぶ所を誤る勿れ。

同會講義錄見本つき規則書は、東京神田區駿河臺大日本國民中學會へ御請求次第無料進呈せらるべし

大日本國民中學會朝鮮支部

日韓書房 新版報告

金子堅太郎著 黑田如水傳 定價二圓八十錢 送料十八錢
川口西三著 銀行簿記精義 定價二圓 送料十八錢
高橋貢次郎著 銀行論 定價一圓 送料十四錢
實業日本社編 名士實話 青年勉強法 定價[illegible] 送料[illegible]
保科孝一郎著 國語教授法精義 定價一圓三十錢 送料十八錢

京城本町二丁目 電話[illegible]

朝鮮總督府製造に係る蔘精は民間に製造を嚴禁せられ居る紅蔘の製造と相俟て生產せられ居り候に付其の製造方法品質成分等は全然民製品と異り居り候に付御買求めの節は特に朝鮮總督府の封紙に御注意願上候

新製品 朝鮮總督府浴用蔘精
本日より發賣開始仕り候
定價 一封度入 金壹圓(一人風呂にて十五回乃至廿回分)
主効 神經痛、子宮病、痔疾、皮膚病、僂麻質斯、肩腰痛、病後又は老衰、關節炎

朝鮮總督府內用蔘精
定價 五匁入 金壹圓 十匁入 金貳圓
主効 胃腸病、腹痛、僂麻質斯、神經痛、下痢、宿醉、強壯劑

朝鮮總督府外用蔘精
定價 五匁入 金三十五錢 十匁入 金七十錢
主効 僂麻質斯、關節痛、肩腰痛、創傷、火傷、痔疾、打撲傷又は家畜の疾患

送料荷造費は定價外に實費申受け候

朝鮮總督府蔘精元賣捌所 朝鮮總督府官鹽賣捌所
京城南大門通五丁目 板倉支店 電話二七七一番
平壤府數里五番地 本店 板倉商店

タオル製造販賣
小野タオル製造所
京城青葉町三ノ一 電話一五九〇番 振替口座城四一一番
(申込に依り印(タオル)調進可仕候)

內科 小兒科 (入院隨意)
京城府龍山元町(憲兵隊側)
幾野醫院 電話二〇四番

を自家の一味にて占有せんとし過般來政治調査員財政稽核員等を各地に派遣し調査せしめつゝありしが最近

哈爾賓における民國五年度の內國公債募集は先きに吉林公署より哈爾賓

好ならざる由（奉天）

●露人鑛業經營

●酒の上で人殺し 咸南洪[illegible]

同人の前額部を骨折せしめ爲めに同

本町三丁目清涼社に雇はれ昨年六月

●不埒な懲役二年 京畿道始興郡

●手當欲しさに窃取 京城慶雲洞居住

窃盜をなしたる爲め何れも鍾路署に檢擧されたり

●亂暴な巡警

露國より歸來せる救護班一行（京義線汽車中にて）

# ●遣露救護班の入京（一）

## 胸に耀く慈愛の象徴

### 勳章徽章並に感謝狀を賜はる

凱旋軍と異ならざる名譽を擔うて歸る

露國派遣の我赤十字救護班一行二十一名は八日午後七時三十分南大門著列車にて入京し森安博士以下總督府醫官金谷府尹其他多數の

**赤**十字社愛國婦人會員等の出迎を受け腕車を驅つて巴城館に投宿せり一行は露國軍醫の服制を著けたる醫長上野博士以下醫員三名露國清敎僧侶の黒服を纒ひたる容貌魁偉なる通譯兼宣敎師の森田亮氏及び事務員一名及び

**露**國式看護婦服を著けたる婦長友成とみ子以下十二名の看婦は何れも胸間に勳章を輝かせ喜色滿面に溢れて見ゑたり同救護班一行は一昨年十月末敦賀を出發十一月中旬ペトログラードに著し約一箇月間を準備に費し十二月二十日より患者を收容し本年四月十日に至る迄

**戰**傷病者の救護に盡力し四月十一日該病院を露國赤十字社に引繼ぎ同二十五日ペトログラードを發して歸途に就きたるが此の間に於て收容したる戰傷病者は悉く重傷者にして其の數五百名此の延人員四萬四千一人に及びたるが死亡者は僅かに十一名を出したるのみにて頗る良好の成

**我**赤十字社の整頓と醫術の進歩と犧牲の美德に富める擧動とに對する多大の賞讃を受け凱旋軍に異らざる名譽を擔ひて歸朝の途に就きたるが我救護班は屡々露國皇后陛下、內親王其他の各皇族殿下の御見を忝うし歸途に際しては皇帝陛下より特に其の功勞を思召されて醫長には神

**聖**アンナ二等勳章を醫員一同には同二等勳章を事務員にはセントスタツラート三等勳章を看護婦長にはウラジミル頸付メタル組長はアンナ

**胸**付金色メタル看護婦一同には同銀色メタルを賜はり且つ皇后陛下には御告別の爲め御拜謁を仰付けらるゝ筈なりしが御不例の爲め御拜謁を得ざりしが特に御鄭重なる感謝狀を下し賜はりたり、同救護班は最初五箇月間應援の豫定を以て露都に赴きたるが戰局

**意**外に擴大じなると戰亂の永續との爲め豫定期日を何回も延引し今回漸く引揚ぐるを得たる次第なりと救護に從事中は露國人の特志看護婦三十名同看病人附添人三十餘名及び小使人夫等合して約百名を補助員として使役したり

## ●新軍旗奉授式

平壤の第七十七聯隊

八日快晴午前十一時より步兵第七十七聯隊軍旗奉授式を擧行せり式は莊嚴を極め拜觀者をして崇高の念に打たしめたり式後立花師團長は官民有力者を營庭に招待して宴を張れり（平壤特電）

## ●五月場所初日は延期せず

太刀山、西の海、鳳、大錦の組が京都合併興行の爲め歸京延期し從つて番附の發表遲れ初日も或は來月迄日延べせらるべしとの噂專らなるが右に就き取締友綱は曰く「神戶で興行して居た時、東京から

▲十二日番附發表

にしては何うかと云ふ問合せがあつた其時一行から十日に繰上げたらどうかと云ふ返事を出して置いたが、其後京都で興行の事になり、隨つて歸京も多少遲れる事になつた爲めか、先着の太刀山組の書記から一般の希望は番附發表を二日ほど延して貰ひたいと云ふ意味の手紙が協會へ來た、それで協會からは何れ出羽ノ海に面會の上熟議を遂げ、電報で返事をよこせと入間川其他へ申し送つたが、未だ何の返事もない、其返事によつて決定する筈であるが最初

▲繰上げて呉れと

云つた位だから、多分延期はしなからうと思ふ、又假令番附が一日や二日遲れたとて十八日初日には先づ影響は無からう、勿論分離問題の事も無いではないが、之は巡業の時の事であるから、此爲め初日を動かすやうな事があつては世間に濟まない、私共は絕對に初日を延期させない積りであります（東京）

## ●我が良夫の一家鏖殺

を企てた怖しい鮮婦人

慶南密陽郡下東面三浪里李文伊(二七)の妻崔順伊(二六)は常に夫を嫌ひ無斷出家すること度々なりしが其都度取押へられて同棲中離別せんと決心したるも普通手段にては目的を達すること能はざる爲め生家に立歸り實父なる崔禁伊(五二)實母金玉義(三八)と共謀し夫李文伊一家を鏖殺せんと企圖し四月二日實家より毒藥砒素を弟なる崔福守(二一)に持參せしめ之れを同日夕餉の飯及び汁の中に混じ置きたる處之れを食したる夫文伊を始め同家の金孝任(三六)李召界(六六)李小任(六二)李甲斗(三一)の五名は何れも中毒して吐血したるも幸に混入量少かりし爲め生命に異狀なかりしが前記犯人等は何れも此程密陽分隊の手に檢擧されたり

## ●一警官數名の賊と格鬪

遂に一名を斃す

忠北堤川郡德山面廣川里にては夜間重石を盜掘する曲者あり所轄堤川警察署面巡查駐在所にては是が犯人檢擧に努め居れる間四月三十日午後九時頃同駐在所勤務金巡查、吳巡查補の二巡查補は密かに同里に赴き金巡查補は同里の尹某同方に匿れ密偵中果して曲者等は巡查補の來りし事を探知し庖丁棍棒其他の兇器を手に〳〵携へて襲ひ來りたるより同夜午前三時頃金巡查補は數名の兇漢を相手に格鬪を始めたるも衆寡敵せず遂に二名の賊は庖丁を以て金巡查の前頭部に一個所の創傷及び上衣の右腋下を一尺餘切り裂きたるより同巡查補は已むなく携帶せる銃を取出し賊を射せんとせしに曲者等は銃を捕へ射たんとするより止なく發砲せるに內一名の者の頭部を貫通し卽死せしめたり一方此の急報に接したる同駐在所員は大擧して犯人を搜索の結果遂に五名を逮捕し目下引續き共犯者の嚴探中

## ●祈禱師化の皮を剝がる

咸南甲山郡長坪面富興里金龍俊(四九)同里金基俊(二二)の兩名は祈禱師なりと自分等の占術が甚だ効果あるを他人に知らしめんため本年二月二十三日より三月十四日迄の間に數回に亘り同里の共有書堂に金基俊の長男學周(一四)を忍込ませ書籍を竊取せしめ置き之を祈禱に依りて發見せしも如く裝ひ尙同里の曹昌根居宅に四回、昌淳方に二回、鄭元赫方に三回の放火をなして遂に內一棟を全燒せしめながら此は鬼神の行爲なるを以て吾等の祈禱術に依りて其災厄を除去し遣るべしなど揚言して被害者等を欺き更に祈禱を勸めて金品を捲き揚げ居りしも被害者は之れを秘し屆出でをなさざりしも遂に甲山憲兵分隊の手に檢擧することを得たり

## □朝鮮製の鯛の濱燒

▽朱安鹽田で仁川の鯛▽盛に出來たら一名物

鯛の濱燒は瀬戶內海の製鹽地の特產品として昔から名高いもので、魚類の製造品中こんな結構なものは無いと謂はれてゐる、何故此濱燒が左程結構なものとして昔から珍重されるかといふと、其味にわいもいはれぬ趣きのあることは勿論だが、又た之れを完全に製造するには非常なる熟練を要する爲めである、元來之れを作るには煎熬鹽の釜揚に當つて食鹽を有す

□熟練と呼吸を要

る熱を以て鯛を蒸燒くので其蒸し方が過ぎれば鯛の形が潰れて仕舞ふ、從つて其取扱には非常な注意を要するのみでなく鯛の大小に依つて蒸す時間に微妙な手加減をしなければならぬ若し程度を越ゐると

□鰭や尾が潰れて

形を惡無しにし、且つ色澤を惡るくする其れかといつて蒸す時間が不足すれば味が惡くて到底も食へなくなつて了ふ、其處で瀬戶內海は鯛が豊富であり、昔しから其製法を傳へて呼吸に通じて居るものが多い爲め遂に今日では同地方の特產品と唱へらるゝに至つたのであるが然るに朝鮮でも此程一寸した

□機會に濱燒を作

つて見る事になり度支部專賣課の朱安出張所の煎熬鹽作業所で水產課の蒲浦技師監督して同出張所長や所員の手で仁川鯛を用ひ二十匹許りを製造したが食味は勿論、形體、色澤とも內地に立派なもので內地の濱燒に比して些しも遜色がないものが出來た之れに依つて鯛の濱燒は決して瀬戶內海の特產品では無く

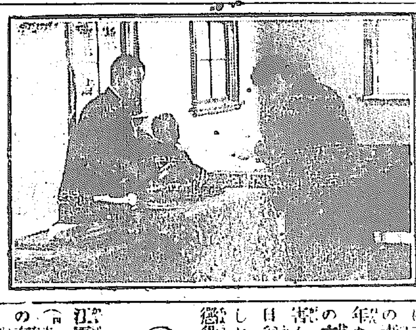
□朝鮮でも其製法

さへ會得すれば充分美事なものが出來ることを證據立てられた、今後は仁川邊りでも個人の煎熬鹽業者中に此の濱燒を作るものが現はれたら地方の一名產として定めて歡迎せらるることであらうと

## ●篤行者表彰式

閔裕植、佐竹楳太郎兩氏

京城府にては八日午後二時半より學校組合會議場に於て多年慈善公共の事業に盡したる閔裕植、佐竹楳太郎の兩氏に對する表彰式を行ひたり閔氏は龍山山手町の兩班にて數々私財を投じて育英事業に貢献し前年龍山公立普通學校（當時協成學校と稱したり）の改築の際の如きは五百圓の寄附金を爲したる事あり佐竹氏は未だ二十七歲の青年なるが鎌倉保



育園支部を龍山に設け幾多の棄兒と戰つて既に今迄に二十五名の孤兒を訓育しつゝあり何れも其功績顯著なりとして今回表彰せられ且つ道長官より銀時計を一個宛贈與されたる次第なり當日は松永長官、金谷府尹、時永、石原、北村の各事務官、矢野龍山憲兵分隊長、松井鍾路署長、大久保府協議員各公立學校長其他六十餘名參列府尹より證書及び記念品を授與し道長官、大久保氏等の祝辭あり三時半終了青木堂階上に於て茶菓の饗應ありたり

・金谷府尹佐竹氏に證書を授與す

## ●和蘭人らしき彈藥を隱匿す

青島天津町馬車屋和蘭人ヨーゼフ、モンヘン(三一)は獨逸時代より青島に在住し居たるが去る二日午前九時頃憲兵隊密偵の探知に依り獵銃彈約四千三百發其他實彈銃器數梃を隱匿し居ること發覺し目下取調べ中なるが如何なる目的にて所持し居たるか判明せざるも多分占領後邦人入市と共に之れを賣却せん目的なりしも其筋の取締嚴重なりし爲め今まで隱匿し居たるものならんと（青島）

## ●夫の若年を嫌つて絞殺す

忠南天安郡歡成面佛堂里鄭姓女(二八)は三年前同里の安利達長男成佛(一二)の妻となり同棲し居れるも同人の若年なるを嫌ひ度々他の若者殊に同里の亡安道寬と私通し居れる內夫を殺害して他に再嫁せんと昨年十二月十日父母の不在中成佛を襟卷にて絞殺したる事件は公州地方法院にて無期懲役の判決を受けたり

## ●小兒二名燒死

放火犯人逃走す

江原道麟蹄郡三和面井林里金出伊(四七)は本月六日物品購入の爲め同里の南舜哲に其の代金を渡して購入方を依託したるに同人は之を惡く消費したるを探知し舜哲を自宅に召喚して論爭中隣家の南百年なる者來りて仲裁したるも憤りたる出伊は之に應せず同夜午後十時半頃火鉢を抱へて戶外に飛び出し自宅の藁葺屋根に投り上げたる爲め發火して遂に自宅を初め附近なる朱尙運方外八戶を烏有に歸せしめたるが朱尙運方にては長女孟玉二女龍七の二兒及び牛一頭燒死を遂げ十戶の損害總額一千六百二十六圓に達したるが金出伊は騷動中逃走したれば目下其筋に於て嚴探中

## ●大鹿を撲殺す

去る三日午後六時頃淸津稅關裏手なる檢疫所附近の畑地に何れよりか來りしものか一頭の大鹿現はれ來りしを檢疫所監守人が之を認め各々棍棒を携へて窃に鹿の背後に廻り一棒を喰はせて足を拂ひ鹿の倒れたるを隙さず滅多打となし之を撲殺したるが同鹿は重量十四五貫目にも餘る大鹿にて多分高抹山半島に棲息したるものなるべしと（淸津）

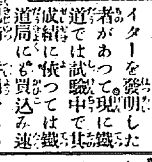
## ●惡戯から殺害

平南江西郡雙龍面柳明里金觀道(二二)は四月二十四日江西面へ薪賣に行きたる歸途柳明里酒店車佳寶方に立寄り崔炳坤(二二)朴俊哲(三二)の二名と共に飲酒の末二人を相手に口論を始め金觀道が薪を負ひて逃げ出したるを前記の二人は追ひかけ薪を負ひたるまゝ後に引き倒し叩き伏せられて人事不省に陷りたれば二人は驚きて醉も醒め果て金觀道を背負ひ歸り介抱を加へしも二十七日に至り遂に死亡し二人は傷害致死として其筋に取押へらる

## ●書籍三百餘圓

京城觀動洞李正福(二四)同居金七徐(二一)の兩名は共謀し昨年十二月以降今日迄に裏洞閔奎植の所有なる書籍其他百餘點を前後十七回に窃取し此價格約三百餘圓を其都度僞名して古本屋其他に格安に賣却したる爲め鍾路署に檢擧さる

◎高野山の降誕會 新町高野山分院にては九日（舊四月八日釋尊の降誕）に相當するを以て降誕會執行午後二時より說敎あり參拜者に甘茶の接待あり




日本字のタイプライターを發明した者があつて現に鐵道では試驗中で其成績に依つては鐵道局にも買込み速記者に當がつて速記術と併用せしめ樣と計畫してゐる相だ▲其內容を聞くに西洋のだとアルファベット丈けで其れを綴り合はせて行けばいいから非常に便利だが日本字だとさうは行かぬ▲卽ち考慮の費された處は此點で西洋のアルファベットの代りに完成した一字の外に偏と旁と許りが半分宛ある▲其れで「京城」を印刷しようと思へば「京」の一字と更に「土」と旁の「成」字を組み合せて一字を作る譯になるのだ相だ▲旁の「成」字は城にも成れば誠にも成る譯である▲此タイプライターはよく二千種の異つた文字を印刷する事が出來ると言ふ兎に角一部の成功には違ひないが尙ほ一歩進むべき餘地を持つてゐるとの評判だ


### 商業登記公告

支配人選任
支配人ノ氏名住所 京城府茶屋町參拾貳番地 白樂仲、主人ノ氏名住所 京城府[illegible]八拾七番地 大昌貿易株式會社 支配人ヲ置キタル場所 京城府[illegible]
[illegible]
右大正五年五月四日登記

### 京城地方法院

### 物品購買公告

鐵材外拾參點
右入札ニ附ス詳細ハ五月九日以後ノ朝鮮總督府官報又ハ本府ノ揭示ヲ見ヨ

朝鮮總督府

### 商業登記公告

一 株式會社朝鮮商業銀行取締役金[illegible]、大正五年四月貳拾九日辭任ス
右大正五年五月五日登記

京城地方法院平澤出張所

### 商業登記公告

水原電氣株式會社登記事項中監査役和田拔五郞、末吉八大ハ大正五年四月貳拾參日改選ノ結果何レモ重任シタリ
右大正五年五月參日登記ス

京城地方法院水原支廳

開城地方金融組合監事缺員ノ處大正五年四月貳拾貳日左記ノ者監事ニ當選就職シタリ
開城郡松都面宮町四百壹番地 金基顯
右大正五年五月四日登記

京城地方法院開城支廳



### 京日案內

普通（一回金三十錢 一行五字詰）
番外（一回金二十錢 每日）
▼申込後中途掲載中止の節は料金返戾せず

中學卒業數學經濟測量得意保證金參百圓あり會計商店會集金又は測量係に雇はれ度し 姓名在社 411

◎有給外交員採用 月給廿圓以上 希望者履歷書携帶本人來談 京城花園町一ノ二 帝國圖書普及會支部 406

◎少資本で誰にも出來る利益多き談風鱗酸製作器具至急格安に讓る製法無料傳授す 若草町八〇 川上 405

◎店員入用 十五六歲 京城本町二丁目 龜屋商店 112

▲見習看護婦至急採用 希望者本人來談あれ 龍山元町 電話二〇四 幾野病院 409

▲習字帳▲愛石▲海石▲殘堂等色々取揃へ有候 京城本町三 電二五二七 ツツボヤ書店 158

◎讓渡果樹園 城外苹梨桃約千五百本植付後六年成績頗る佳良希望者は可成往復端書で照會あれ 姓名在社 404

旅館讓受たし 京城旭町三丁目 山崎 電話一七九七番 176

番外 電話開通一四六三 ◎ロクロ細工專業 ◎建築くり物 ◎諸車ロクロ製造 ◎上山ロクロヤ 京城永樂町一丁目赤門通（電略カミ） 409

特別の利益ある 豆腐屋讓る 南大門通り五 電話二四八二 刀根雜貨店 410

卸得意廻り店員入用 年齡廿歲以上卅歲位迄酒商に經驗有者にして確實なる保證人を要す 京城永樂町二（米正宗）新店酒店 407

恩給年金類 長期低利立替 短期保險不要 市內土地擔保低利金融す 京城南大門外（舊御成町） 山口屋 190

外交員 經驗ある者二名採用す希望者は午前中來談あれ 403

黃金町三丁目安藤病院橫 朝鮮研究會

礦物定量分析 京城太平通二ノ一二五 坂元分析所 電話一三四四番 165

働手廻 掛け 製麪器 貸物あり 本町二丁目 關商店 電話四七六番 188

◎重石水鉛買入 京城瑞麟洞 大菱商行 光化門郵便局（橫川端） 電話四八六番 108

▲萬衣裳貸物所 本町五丁目電車終點 電話二千八百六番 べにや 120

外勤社員招聘 經驗有無に係らず希望者自筆履歷書携帶來談 京城本町二ノ一〇六 太正生命保險京城支部 121

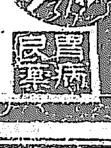
諸鑛石分析及測量 京城府鍾路二丁目八十八番地 金鍾商鑛業所 133

年金 恩給 退隱料で金融希望者へ 其他諸公債證券に對し低利即時立替 京城永樂町一丁目 商品陳列館表門前 江州屋 店 148

皮膚病 花柳病 專門 京城永樂町一 商品陳列館坂の上 須古醫院 電話二一〇三番 196

內科 呼吸器 胃腸病 專門 兒科 京城本町二丁目元中島病院跡（入院隨意） 山田醫院 電話二八〇番 197

■ボールト カスガイ専門 京城府龍山 島田鍛冶工場 電話四九番
▼勉强の程度を是非一度御照會ありて其眞價を御試しあれ


胃病良藥 太田胃散
○飲過ぎ食過ぎに妙なり

# 千生瓢（206）

須藤南翠作　筒井年峰畫

## 長湫（七）

意氣激しく迫つても、秀吉は容易に動かなかつた。勝入齋は今は堪へ難きまでに氣を焦燥つて、

「昨夕申し進めた企圖、所詮今明日を過すことは相成り申さぬ。入道が御本陣へ參上致すをだに、人は何を言上するやらんと、耳目を聳てゝおざるものを、敵の何とて見逃し申さうや。自然此事延引するに於ては、敵の間者に聞き出させ、彼その裏を掻くに於ては、後悔其詮おざるまい。且つは入道が日來の心盡し、滿身の眞忠も畫餅となつて、口惜しき事の限りと存ずる。常には耳を掩ふに遑なき神速の貴公、此一議ばかり何とて箇樣に遲滯せらるゝぞ。入道近來合點參らぬ次第おざるわ」と、齒を嚙み、腕を扼ばつて、奮然として迫るのであつた。

實は秀吉には其計略の妙なほど、多少後顧の憂ひがあつて、まだ十分の決心はなかつたのである。されど、入道が一徹に思ひ込んだ事といひ、此事成就するに於ては、一擧にして敵を粉碎し得られざるにもあらねばかりでなく、此入道の意氣組を見るに、此上策にして行はれざるに於ては、斷然上方勢を脫して、北畠に合體し、鉾を倒にして此方に對ひ兼ねまじき氣勢があるので、慧敏電閃の如き秀吉、咄嗟に態度を一變して、

「氣の急い入道殿、秀吉未だ可否は申さぬちや。ハヽヽヽ。先づ身が申す所をお聞きやれ」と、温言を以て、先づ其氣勢を和げた。

「御返答の遲延致いたに依て、入道の手立な御用ひなきかと存じ申した。さらば承はり申さう」

勝入齋は猶張つた肱を曲げないで突つかゝるやうに問返した。

秀吉は儼然として主將の態度を粧つた。

「入道が建策、昨夜緩々熟考致いておざる。仍つて改めて軍令を申し遣するでおざらう。」

勝入齋は軍令の語を聞いて、手を突いて謹聽する。

「三洲中入の儀、入道御所望の如く先鋒御委せ申すでおざらう。然らば明朝發向して村々を燒き立て、早々は軍を歸さるべし。また軍兵を分けて篠木、柏井の者共を助け、夜毎に其邊に侵掠致すに於ては、敵は必ず大に苦み申さう。斯くして敵を苦むる時は、尾州の徒は大半味方に歸參するでおざらう。濫りに軍致す儀は決して許し申さぬ。大將には三好孫七郎（秀次）を遣し申さう。森武藏守（長可）には援軍申し付くる」

此令を聽いた勝入齋は、欣然として雀躍りした。

「仰せ逐一承知仕つる、但し三好孫七郎も、森武藏守も、皆な入道が女婿おざる。舅婿ばかりにて一人の他人を交へず、三河の國を攻め取つて先日被つて羽黑の恥を濯むることは願うてもなき愉快おざるが、願はくば外に一兩人の他人を差遣され、軍監とも、後日の證人とも致したうおざる。序ながら是れをもお聽き濟み下されたい。」

「御尤もおざる。然らば、堀久太郎秀政に、長谷川藤五郎秀一を差遣はすでおざらう」

秀吉は斯う申し渡すと同時に、堀秀政、長谷川秀一を呼び出して、池田勝入齋の建策の次第を告げ、

「其許兩人、手勢引具し、池田殿と一手になつて、三河へ中入せらるべし。但し呉々も申し置くは、岡崎附近、在々村々を燒き拂へば、早速に歸陣せられよ。必ず／＼此方より軍を仕向けること、堅く相成り申さぬぞ」と嚴命した。

是に於て三州中入の諸將、三好孫七郎秀次、是れは秀吉の甥、勝入齋の婿として、總大將として、堀久太郎秀政、長谷川藤五郎秀一は軍監として、森武藏守長可は援軍として、孰れも瑞統寺の池田が陣に會して、其部署を定めた。即ち池田信輝入道勝入齋、同く紀伊守之助、同く古新輝政、森武藏守長可を先陣とし、堀久太郎秀政を二陣とし、三好孫太郎秀次を中軍とし、長谷川藤五郎秀一を後陣として、四月八日の夜亥の刻を以て、愈々南の方三河に討ち入る事となつたのである。

皮膚科　入院隨意（診察夜九時迄）
皮膚病　黴毒病　痳病　膀胱病　生殖器　機能障礙
日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目（元二丁目）
佐藤醫院（電話一一七三番）

◎西鮮より　皐天

平壤より此は桃七分咲き
松の丘に桃の村水田見晴して
春老ひて桃まだ蕾む里のあり

鑛山熱

採鑛の人らし若葉憩ふ山
露頭と見ゆ槌打てる人汗となり

車窓所見

うねり畔を牛追ふや菖蒲の立つ
降りんかに鷺縫ふ畓漣めり
ブツ切りしポプラ若葉す小驛哉
挿しポプラ若葉す新路橋のなき
砂金掘りし荒れ跡を春靑うせり

五月節句

幟立つ移民村子等の晴著して

◎日本一のよき思つき　藝妓檢黴問題を提げて西久保警視總監に迫り世人の注目を惹きつゝある雜誌日本一は今回の五月號に於て更に同問題に關して深刻に又痛く各方面實際家の實行論を掲げ又新に懇醫師征伐の人生問題を提起してその痛烈にして該博なる記事は數十頁に亘り斯途者が番番すべき近來の快文字なり尚同誌獨特の記事なる浮田博士の大獨逸帝國の運命、和田垣博士の窓外錄、新渡戸博士の桃太郎とく

## 商況

### 大阪株式特電

▲八日後場

| | | | |
|---|---|---|---|
| 和歌山紡 | [illegible] | | |
| 合同紡績 | [illegible] | 一六四、九〇 | |
| 鐘淵紡績 | [illegible] | 一四四、二〇 | |
| 同上新株 | [illegible] | | |
| 東洋汽船 | [illegible] | 三〇[illegible] | |

| | | |
|---|---|---|
| 六月限 | 一三三、四〇 | 一三三、四〇 |
| 七月限 | 一三四、二〇 | 一三三、四〇 |
| 八月限 | 一三三、三〇 | 一三三、四〇 |
| [illegible] | 一三三、九〇 | 一三三、九〇 |

### 下關期米特電

▲八日後場（買氣あるも賣物續出し遂に又々保合）

▲八日［illegible］の入[illegible]九十錢より九錢[illegible]九錢と[illegible]たる[illegible]大阪[illegible]

▲保合乎否乎　大阪の成行は[illegible]

[illegible]

## 新刊紹介

和魂、志賀博士の日本一大饗成法を初めとし寺山教授の消費者教濟策、大阪築港と三大當業の競爭、世界の大成金閥、印度革命の眞相、背物市場の解剖等必讀の文字なるべく小野主幹の三億弗の樂園君萬山科、醫學の女不二、水陸の水禍與洛陽の紙價を昂からしめ日南のナポレオン大帝論は千古の英雄を地下に呼び起し又社會の大評判たりし日本一溫泉投票の懸賞當選者姓名は本號によりて發表せられその外天外氏の近代の傑作小唄供養に至りては小杉氏身邊の何物をも排し熱血を傾注し執筆せる一大雄篇なれば天下の子女を腦殺せんには止まざるべく彼の汽車時間表の挿入は旅者にとりて至便缺ぐべからざるを思ひつきと云ふべし

▲シェイクスピア　齋藤勇著　はしがきに曰く「本書の目的はシエイクスピアの生涯及作物に關して出來得る丈正確な智識を提供する事にある故に彼の生涯を述べつゝ年代順にその作物を研究する方法をとつた併し彼の生涯の事實と彼の作物の内容や形式に關する批評とを知つた丈では假令博學な人たるを得るとは言へ未だ以てシエイクスピアの大文學を解し得たとはいへない故に目前此の偉大なる劇詩人に接する法として本書はシエイクスピアの作物の殆ど各編から可成長い拔萃を掲げそれに拙い乍らも翻譯を附け且譯解の[illegible]に[illegible]を與へてある[illegible]つて本書はシエイクスピアの傳記であり作物の梗概や批評であり且つ拔錄でもある」と內容を[illegible]以て更めて贊せず（一圓五十錢東京市麴町區三丁目[illegible]）

▲圖書月報（四月號）十二錢東京市日本橋區本材木町二の一六東京書籍商組合事務所

▲工業生活（一の七）十錢東京市小石川區久堅町一〇九大日本工業學會

▲文章俱樂部（創刊號）文章初學者の手引たると共に新文壇入門の伴侶たらんが爲めに生れたるもの[illegible]諸氏の作品を載す（十錢東京市牛込區矢來町三中の丸新潮社）

▲科學世界（九の九）國防充實と基礎工業の確立工學博士加茂正雄、茜の紺と人造の紺藍田染織學校教諭、[illegible]理學博士[illegible]、歐洲戰場に於ける衞生狀態獸醫[illegible]銘泉生、人の胸組學[illegible]野間一、蝶と色々[illegible]其他有益にして興味深き記事多し（二十五錢東京市[illegible]）

▲義勇青年（五月號）本號より內容を刷新し[illegible]靑年義勇帝公、努力主義と大破吹せんとす[illegible]習作の史劇及[illegible]兵檢査簡易保險義務利用等に關する記事[illegible]味多し（十五錢東京市牛込區[illegible]）

▲日の丸（一の二）何日の間にか現らしくなりました[illegible]外坊ッちやん[illegible]ためになる美しい[illegible]で説明がしてあります（八錢東京[illegible]）

▲農村の訓練　農村に關する各種の問題に今や我國上下の擧げて研究する所となれり[illegible]民の大半は之に屬し[illegible]の改善に努め[illegible]農民の訓練なり[illegible]（六十錢東京市日本橋區[illegible]）

▲日本の關門（一の四）二十錢山口縣下關市大字南部町一四七關門社出版部

▲皮革世界（一〇の九）一錢五厘東京淺草區吉野町八四其社

▲イーグル（一の八）本誌獨特の社會觀を以て注さるゝ日く孫君の心理解剖日く郵船の老社長株屋に泥尼なつかまる日く大道藥で金を儲ける益田太郎冠者日く何日く何か如何（十一錢大阪市堂島其社支局）

▲新日本主義（四月號）十錢五厘東京市牛込區矢來町一其社

▲寫眞博覽會　活動寫眞雜誌臨時增刊號にして彩色版伊達姿話天吉松櫻子動天命犬の鶴品輝尻配譜及び口繪二十五記事約三十總て活動寫眞映畫說明又は活動寫眞に關するもの（本號に限り三十五錢東京赤坂一つ木町六五活動寫眞雜誌社）

▲勞働及產業（五月號）論說統計文藝雜錄等に別ち約二十の記事總て勞働に關する教訓勞働と產業國家問題資本勞働社會問題に密接なるものを載せたり（十二錢東京府西多摩郡[illegible]）

▲國語教育（一の五）國語研究會の編輯する所にして論說教材の研究教授の實際國語問題雜錄文苑等の各欄に分ち各學校訓導教諭教授等教育家が研究の結果を發表せるものなり（二十五錢東京牛込區市谷町二〇育英書院）

▲通信地理學　元西部遞信局長法學士坂野鐵次郎著にして通信と地理との關係を考究し勢威と人情風俗習慣制度產物等の通信關係に及ぼす影響等を研究し以て通信事業に關する一般的智識の普及を計りたるもの（三十五錢東京府巣鴨町一七の八〇昭文閣）

一石炭（切込炭）壹千噸右購買ス詳細ハ五月八日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

新刊書御案內

| 書名 | 著者 | 定價 |
|---|---|---|
| ◎浮城物語 | 矢野龍溪 | 九〇 |
| ◎生きんとする努力 | 大住嘯風 | 九五 |
| ◎東京の近郊 | 田山花袋 | 一、五〇 |
| ◎日蓮聖人之遺訓 | 文祥堂 | 五五 |
| ◎みだれ髮 | 小栗風葉 | 四〇 |
| ◎通信販賣小資本成功法 | 清水正巳 | 五〇 |
| ◎日本全國女評判記 | 秀山岳山 | 六〇 |
| ◎家庭の衞生 | 下田歌子 | 四〇 |
| ◎面白き英語の手紙 | 桑田春風 | 一、〇〇 |
| ◎我家の顧問 | 文祥堂 | 七五 |
| ◎誰にも出來る株式相場 | 田尻勝之助 | 一、〇〇 |
| ◎田舍源氏 | 柳亭種彦 | 八〇 |
| ◎現代米國外交論 | 島谷亮輔 | 一、〇〇 |
| ◎露西亞語學概論 | 八杉利貞 | 一、二〇 |
| ◎無駄を省く法 | 佐々木十九 | 八〇 |
| ◎最近科學上より見たる音樂の原理 | 田邊尚雄 | 二、〇〇 |
| ◎意志の力 | 安田善次郎 | 六五 |
| ◎現代戀歌評釋 | 尾山篤二郎 | 六五 |
| ◎空中の奇禍 | 押川春浪 | 六〇 |
| ◎マクベス | 坪內逍遙 | 一、三五 |
| ◎朝鮮語官廳法律講義 | [illegible] | 特七五 |
| ◎受驗者必讀漢文ことばの林 | [illegible] | 一、〇〇 |

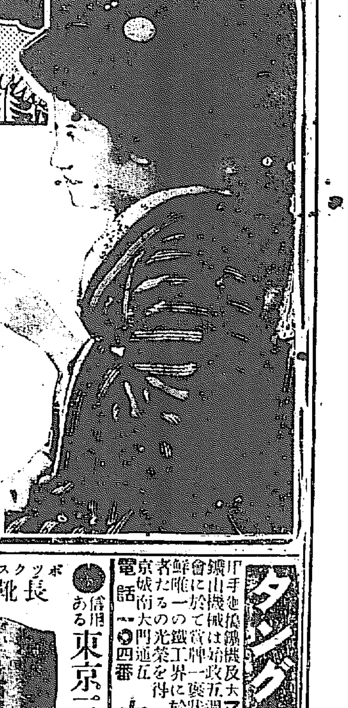
大阪屋號書店　京城本町[illegible]

小兒良藥　樋屋奇應丸
專治　小兒の夜啼・癇・五疳・驚風・吐乳及發生熱等
到る處の藥店に有り
樋屋合資會社　大阪天滿橋

登錄商標　旅行用輕便至極耐久無比の御使用者好評　鞄
東京市芝區伏見町　內田問屋　靴鞄製造　電話新一五一　振替東京一八一七一

瀨戸　外科皮膚科醫院
旭町二丁目（舊三丁目）
醫學士　瀨戸潔
診察夜九時まで
（電話二四九八番）

レート白粉



五月晴の東京式美粧

**晴やかな五月の**　都大路を往かふ人や、春の野に蝶を追ふ乙女の袂も軽けに見ゆますが、チラと見たゞけで幻現のやうに眼に殘り、怎うしても忘れ兼ねるやうな美しい方があります。肌理が細かで色艶が良く、羽二重のやうに綺麗な潤澤した肌を透して、活々とした血色がほの見ゆて、一目で東京式美人とは斯うした方のことであらうと頷かれる程でムいます。實際惩んな美しい方のお粧こそ

**新東京式の美粧**　でムいまして斯やうに素顏の美しい方は皆、平生レート洗粉で洗つた後でレート乳白化粧水をお塗けになりますので、只之れだけで日焦を防ぎ、また顏に脂ぎつて醜光のするやうなこともなく、眞質に生れ變つたやうに垢ぬけした肌合となるのでムいます。而して、白粉は勿論レート白粉で、レート白粉が

**新東京式の白粉**　と申されますのは、第一此の白粉に鹿毛程の鍋分もないのは素より、第二に白粉の分子が細かいので附も伸も自由自在で、第三に落着が美事でお粧が手際よく出來上り、第四にお粧に斑が出來ず、また化粧崩もせず、第五に質が變るとか、色が變るとか、乾闘るとか云ふことがないので白粉が無駄にならず、其上奥床しい芳香はレート特有のもので、何れの點から見ても惩んな

**完全無比の逸品**　は他に求められぬからでムいます。眞に、粹と艶とを兼ね然かも上品な化粧薬を貴ぶ新東京式の化粧に、レート白粉が專用されるのは疑ひを容れぬ所でムいます。因みにレート白粉には煉、固煉、水、粉、紙、打、自然色等皆完備つて居り、白粉下にはレートチエリー、白粉の溶水にはレート透明化粧水がムいまして、レートは實に新東京式の化粧に特有の化粧料でムいます

タングステン
鐵手動捲機及大マグネット中根式鑛山機械は始政五週年記念物產共進會に於て賞牌一等狀三を授與され朝鮮唯一の鐵工界に於ける最初の受賞者たるの光榮を得
京城南大門通五　電話一〇四番　中根商會

信用ある東京三金の特賣
ボックス製　長靴
長サ一尺三寸　金四圓八拾錢
長サ一尺五寸　金五圓五拾錢
ボックス革製組上
第一號　金貳圓五拾錢
第二號　金參圓五拾錢
第三號　金四圓五拾錢
ボックス革製變型
第一號　金貳圓五拾錢
第二號　金參圓五拾錢
第三號　金四圓五拾錢
ボックス革製深ゴム
第一號　金貳圓九拾錢
第二號　金參圓九拾錢
第三號　金五圓五拾錢

右の均一靴は精選せる材料と熟練なる技術を以て最も入念に製造せし品なれば一般實用紳士靴として好適なり
▽御注文の節は靴種類と足袋の文數御通知あれば代金引換小包（送料實費）にて送附す
最新目錄振替進呈
東京市芝區愛宕下町
三金高等靴店
電話芝六九〇番
振替東京一七一三番

金泉鎭間自動車時間
上り　一番　二番　下り　一番　二番
鎭川發 前八、五〇 後三、五〇
[illegible]
▲小荷物運搬仕り候
金泉織居自動車支部
金泉電話四八番

日本郵船仁川出帆
○相模丸　大連、太沽、牛莊行　五月十一日　正午出帆
○高砂丸　五月十一日　正午出帆
○三河丸　五月廿三日　正午出帆
仁川海岸町一丁目　電話一〇　堀回漕部

大阪商船出帆
○外航所指航路の時は五分引を以て運賃取扱（當社航路に限る）仁川・釜山取扱
○群山、木浦、釜山、關門、神戶、大阪行
×安東丸　五月十一日　午後五時出帆
×天智丸　五月十七日
須磨丸　五月十三日
○木浦、釜山、藍原、濟州島、浦項航行
信濃川丸　五月十一日　後二時出
×信濃川丸　五月廿九日
○鎭南浦、大連行
×信濃川丸　五月廿四日　後二時出
○大連直行
×信濃川丸　五月　日　後二時出
△龍州丸　五月廿六日
×潮州丸　五月十二日　正午出帆
△木浦、釜山、關門、神戶、大阪行
油頭丸　五月　日　午後二時出
○群山、釜山、海州濟行
○釜山、釜山、濟行
潮州丸　五月十七日
福州丸　五月三十日　午後二時出帆
○南浦、鎭南浦行（元山出帆）
△印城津、西湖津、新浦、清津、潮不寄港
宮島丸　五月十九日　午後二時出帆
平安丸　五月廿五日
△上海、基隆、打狗行（大連出帆）
城津丸　五月廿六日　前十時
基隆丸　五月十五日　後四時出
御注意　○北鮮及南鮮沿岸航路船及貨物は[illegible]
○×印は一等客御斷り△印は船客御斷り
京城切符發賣所　大阪商船會社仁川支店
電話二一〇番・二五〇番
▲中國四國沿岸各港行船客に對し當分門司迄一割引門司より五割引を以て運送致候

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
大正丸　五月　日後四時出帆
大有丸　五月十二日後五時出帆
神代丸　五月　日後五時出帆
秀吉丸　五月九日後五時出帆
君が代丸　五月　日後五時出帆
仁川海岸通二丁目　電話五十九番　高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戶、大阪行
神丸　五月廿三日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行
立神丸　五月十一日後十時出帆
○門司、神戶、大阪行
小倉丸　五月　日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行
小倉丸　五月十八日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行
第三琴平丸　五月　日後六時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行
第二琴平丸　五月　日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
天與丸　毎月二日九日十六日廿三日　午後十時出帆
本社代理店・大池回漕部

朝鮮郵船
本社　電話長一九五二番一三番
京城南大門通　松原運送店
金剛丸　五月廿二日　釜山發
京畿丸　五月十二日
貴州丸　五月十六日
成鏡丸　五月廿六日
穩城丸　五月十三日　元山發
昌平丸　五月十一日
鏡城丸　五月
忠清丸　五月十六日　元山發
平壤丸　五月
永興丸　毎月廿八回　元山發
咸德丸　五月十三日　釜山發
江陵丸　毎日　（釜山浦項）發
義陽丸
三浦丸　五月十一日　釜山發
顯天丸　三日目毎　木浦發
慶興丸　十日　木浦發
公州丸　五月十四日　木浦發
公州丸　五日　木浦發
宗信丸　五月十二日　仁川發
江原丸　五月　日　仁川發
麗水丸　五月十一日　仁川發
晉州丸　五月十六日　仁川發
鄭江丸　毎日午前　仁川發
廣陽丸
平安丸　五月十六日　群山發
五月十日　若松發

共同汽船仁川出帆
芝罘、大連行
共同丸　五月　日前九時出港
第一成鶴丸　城津、清津、浦鹽行（元山出帆）　月　日後九時出港
西湖津沿岸各港を經て雄基行　月　日前八時出帆
第三　（元山出帆）
岡波岡共同汽船株式會社
仁川代理店　山下回漕部
元山代理店　田口回漕部
京城取次店　河村運送店